

くもんの高校入試
スタートドリル

こわくない英語

出題パターン別

長文問題

別冊

解答と解説



正答(または模範解答例)のあとの[]内は別解です。

※「入門編」は本文に答えがあります。本書は「実戦編」の答えのみ掲載しています。

→ 解答

- ① (1) ①called ②biggest ③took
(2) ④same ⑤eaten ⑥about
② (1) A. エ B. ウ C. イ D. ウ E. ア
(2) F. gives G. rules H. young I. at J. three
③ A. visiting B. through C. sports D. new
①were ②to
④ (1) A. had B. more (2) イ (3) C. sea
D. water

→ 解説

- ① (1) ①「奈良の大仏」と呼ばれているとても有名な仏像という意味。過去分詞calledは形容詞的用法で、前の名詞を修飾する。
②「最も大きい仏像の1つ」という意味。bigは最上級にするが、gを重ねることに注意。
③the picturesを先行詞とし、<主語+動詞>を続けて、「私が奈良で撮った写真」とする。動詞は過去形にする。
(2) ④オーストラリアでは生徒が昼食に好きなものを選ぶのに対し、「全員同じ食事をとる」という意味にする。
⑤「日本食を食べたことがありますか」という現在完了の文にするので、eatの過去分詞eatenが入る。
⑥How about ~ing?の形で「私たちの教室に来たらいかがですか」と誘う文になる。
要旨：I 修学旅行先の奈良で「奈良の大仏」を見たので写真を見せてあげましょう。II 私の学校ではみんな教室で同じ学校給食を食べます。教室に食べに来ませんか。
② (1) A. 「上手に」という意味の副詞wellを選ぶ。
B. 前の名詞を修飾する形容詞的用法の過去分詞を選ぶ。「プールでプレーされるバスケットボール」という意味。
C. 動詞が現在完了形で<継続>の意味なので、期間の始めを表すsince (～以来) を選ぶ。
D. 「試合に参加するつもりですか」という意味の文。be planning to ~ (～するつもりだ)。

- E. 明が「Sure. 「いいですよ。」と答えていることから、Can you ~?の表現で「いっしょに練習してくれますか」と勧誘する文と考える。
(2) F. ウォーターバスケットボールをする理由として、「あなたにたくさんの楽しみを与える」という文にする。
G. あとの文に「試合中に覚えられる」とあることから、rule (ルール) だと考える。動詞がareなので複数形rulesにする。
H. from A to B (AからBまで)。Bがold peopleなので、Aは対照的なyoung peopleだと考える。
I. not ~ at all(まったく～ない)。at allは否定を強調する。
J. ビルが最後の発言で、「今2人しかなくて、もう1人(one more player) 必要だ」と言っていることから、試合には3人必要だとわかる。
要旨：「ウォーターバスケットボールはとてもおもしろく、先月から兄といっしょに練習している」と、チラシを見せながらビルが明に説明している。試合に1人足りないので参加しないかと明を誘い、明は了承した。
③ A. enjoyの目的語に動名詞visitingを選ぶ。goingはあとにtoがないので不可。
B. 「バスケットボールを通して」という意味でthroughを選ぶ。
C. 前にmanyがあるので複数形sportsを選ぶ。
D. あとにat high schoolがあることから「高校での新しい友達と良い思い出を作る」と考え、newを選ぶ。
①「あなたが中学生だったとき」という意味で、過去形のbe動詞wereを入れる。
② あとの原形becomeから不定詞と考え、toを入れる。「チームの最もいい選手になるために」という意味で<目的>を表す。
要旨：ジョーンズ先生に中学校の思い出をたずねられ、トモヤは京都の修学旅行を、ユリはバスケットボールクラブで良い友達ができたとをあげている。ジョーンズ先生は、自分の思い出とともに友達的重要性を話している。
④ (1) A. 前にhave、あとにa lot of chancesがあることから、文の動詞はhaveの現在完了形だと考え、hadを入れる。直訳すると「そこで泳ぐ多くの機会を持ってきた」

- となり、「そこで何度も泳いだことがある」という意味になる。B.<Which ~+比較級+..., A or B?>の文。「陸と海とでは、どちらにより多くの種類の生物がいるか」という意味で、manyの比較級moreを入れる。
(2) 「生物は長い間海の中だけにいた」という前の文から、「海には生物の長い歴史がある」という文だと考える。前のlongもヒントになる。
(3) 質問は「なぜ地球は生物の惑星になれるのですか。」という意味。最後の段落から、多くの生物が生息する、豊富な水をたくわえた海があることが理由だとわかる。
要旨：海と陸とではどちらにより多くの生物がいるだろうか。海は陸より面積が広く、陸の最高峰より深さがある。地球にある豊富な水をたくわえる海には、地球上の90%以上の生物が生息している。地球は「水の惑星、生物の惑星」と呼ばれ、海を研究すれば、地球や生物のことがよりよくわかるようになる。

→ 解答

- ① (1) ア (2) エ (3) エ (4) イ
② (1) ア (2) イ
③ A. エ B. イ C. オ
④ A. カ B. イ C. エ D. キ
⑤ A. ウ B. エ C. ア D. エ

→ 解説

- ① (1) 彼を知っているかという質問に「私たちは同じクラスです。」と答えていることから、Yesで答えたアが正解。
(2) 「ここでコーヒーを飲んでよいか」という質問に、「コンピューターがたくさんある」と言っていることから、許可していないことがわかる。ていねいに断っているエが正解。
(3) 机の上に置いたかぎをなくしたAにBが言ったことに対して、Aは「いつもそうしようとしているのだけど、でも…」と答えている。この答えの内容を考えると、Why don't you ~? (～したらどうですか) で机の掃除を提案

- しているエが正解。
(4) 「今日の放課後いっしょにテニスをしないか」と誘われたBは、「今日はできない」と断っている。□にはその理由が入ると考えると、「することがたくさんある」というイが正解。アは放課後テニスができることになる。
② (1) 借りた本に関するケイコの発言に対して、トムが「まだ持っていてよい」と言っていることから、ケイコは「まだそれを読み終わっていない」と発言していることがわかり、アが正解。
(2) 午後に新しいビデオをいっしょに見ようというヒトシの誘いをアダムは2度断っている。2度目は別の時間を提案されたと考え、イ「今夜ならどう?」を選ぶ。I'm sorry I can't.の答えにつられて、ウのCan you ~? を選ばないように注意する。
③ A. ジェームズの帰国が悲しいと言っていることから、「あなたにもっとここにいてほしい」と言っているエを選ぶ。want ~ to ... (～に…してほしい)。
B. 前のmy classmates and my teachersをtheyで受け、「とても私に親切で、私をずいぶん助けてくれた」と言っているイを選ぶ。次の文の「彼らに感謝したい」につながる。
C. 「一番おもしろかったことは何か」という質問の答え。あとに「クラスメートと京都を訪ねた」とあることから、オの「修学旅行だった」が正解。
要旨：帰国するジェームズが「京都の修学旅行が楽しかった、もう一度行きたい」と言っているのに対して、カオリはそのときは自分もいっしょに行きたいと答えている。
④ A. 前にNice to meet you. 「お会いできてうれしいです。」とあることから、カのNice to meet you, too. 「私もお会いできてうれしいです。」を選ぶ。
B. あとにHere you are. 「はい、どうぞ。」とあり、次にMr. Davisがお礼を言っていることから、イの「あなたにプレゼントがあります。」を選ぶ。
C. Naomiの「それ(浴衣)は暑い季節のための着物の一種です。」という発言から、エの「この季節にいいですね。」を選ぶ。
D. Mr. DavisがYes, please. (はい、お願いします) と答

えていることから、キの「あなたの写真を撮りましょうか。」を選ぶ。

要旨：Naomiがホームステイ先のMr. Davisと話している。NaomiはMr. Davisに浴衣をプレゼントし、日本の着物が好きなMr. Davisはさっそく試着をする。数分後、浴衣を着たMr. DavisにNaomiは写真を撮ることを提案する。

⑤ A. 前の健太の発言「知らない人に話しかけたいときに、それ('Excuse me. ')を言うべきと習った」を受けて、どのような場合か具体例をあげているウ「駅への道などをたずねるときに言うべきです。」を選ぶ。

B. オリビア先生の発言「'Excuse me. 'と言うのは、聞いていない生徒にこちらを向いてほしいとき」に対して、「もっと話を聞くようにします。」と答えたエが正解。ウは「話を聞いて、(自分が)それを言う」なので不適切。

C. オリビア先生の発言「人にもう一度言ってほしいときにも使う」を、Is it like ~? (それは~のようなものですか。)で受けている。「それをもう一度言っていただけますか。」という表現をあげたアが正解。ウ、エのrepeat after ~ (~に続いて復唱する)につられないよう注意する。

D. オリビア先生の発言「何かの用で人をしばらく待たせるときにも'Excuse me. 'と言う」に対して、具体例をあげている。エの「そう言ったあと、部屋を出て、電話をし、戻って来られるのですね。」が適切。

要旨：オリビア先生がよく言う'Excuse me. 'はどんなときに使うのかを説明をしている(設問で取り上げられている場合以外は、「くしゃみをしたとき」, 「人のそばを通りすぎる時」)。健太は会話を終えたあと、クラブのミーティングに行くので'Excuse me. 'と言った。

⑤ A. エ B. イ

解 説

① A. 前の文でケン覚えてるかたずねているので、彼がだれであるかを説明する文、エ「彼は先週の月曜日あなたに会った少年です。」が適切。you met以下がthe boyを説明している。

B. 前の文に「もうすぐ彼の誕生日」とあるので、次に誕生日の日付けがくると考え、ウ「それは今週の土曜日の2月19日です。」を選ぶ。

C. 「本当はパーティーに参加したい」のあとに、接続詞but(でも)があるので、参加できないことを伝える文、ア「申し訳ないけれど(参加)できません。」が続く。

D. 前の文で1か月間ホームステイをしに来る中国の友達を話題に出したので、友達のことを説明する文である、カ「彼女と私は、去年私が中国に留学して以来の友達です。」を続ける。<継続>を表す現在完了の文。イは中国人の友達と一緒に中国に行くことあるので前の文と内容が合っていない。

要旨：ヒロコはユミにメールを出し、2月19日午後6時からのケンの誕生日パーティーに誘ったが、ユミはホームステイをしに来る中国人の友達を空港に迎えにいかなければならないと言って、断りのメールを返信した。

② I. アメリカでは野球よりもアメリカンフットボールの方が人気があるという人が多く、朝から晩までテレビで試合を見ている人もいます。そのような人はアメリカンフットボールの話になると興奮して(get excited)どのような状態になるのかを選ぶ。エの「それについての話を止めることができない」が自然。アは話題が「お気に入りの野球チーム」なので不適切。

II. 技術者が速く泳ぐ魚を研究して高速の列車や車を作ったり、科学者が蓮の葉を研究して防水の布地を発明したりしている事実を挙げて、So(それで)で結論を述べる文を選ぶ。ウの「自然界に多くの新しいアイデアを見つけることができる。」が自然。アは主語がanimals(動物)で植物に触れていないので不適切。

③ 第1・2段落の要旨：日本在住の外国人は、「日本は好

きか」「はしは使えるか」「日本語は英語より難しいか」などいつも日本人が同じ質問をするので、時々答えるのにうんざりしている。これは「外国人ははしを使えない、日本語が話せない」など固定されたイメージを持っている日本人がいるためである。

第3段落の「日本人は会話の話題をもっと考えるべきだ」という主張に続けて、よい会話をするためにはどうすればよいかを選ぶ。選択肢はすべて<It is ~ for us to ...>「私たちが…することは~だ」の構文。前半の内容から、ア「彼らの文化や彼らが好きなことについてたずねるのがよい。」が適切。そのあとの具体例にもうまくつながる。

④ (1) 「彼女は彼の言葉が理解できなかった。」という文が入る場所をさがす問題。空欄の前の文を見る。A, C, Dの前には理解できないような祖父のセリフはない。Bの前文「それ(カメラ)は私にとって単なる物ではない。家族の一員だと思っている。」と祖父が言っているので、この言葉の意味がわからなかったと判断できる。

(2) 祖父は「①と考える人もいます。私はそれは正しくないと思う。」と言っている。①の部分には、そのあとのセリフ「私も新しいものは好きだが、ものは長く使うにつれて、大切な人生の一部になる。」に合うエが適切。「新しいものは常によりよいと考える人もいます。」という意味。

要旨：新しいデジタルカメラを買ってもらい、祖父のカメラは古くて操作が難しいから買いたくはないというケイコに、祖父は古いカメラで撮ったたくさんの家族写真を見せながら、長く使ったものは大切な人生の一部になると話す。カメラが祖父にとって特別なものと理解したケイコはそれで祖父の写真を撮り、祖父のようにものを大切に、長く使っていくと決心する。

⑤ A. 「しかし、丘を駆け上り、約27キロ走ったあと、彼は走り続けることができなかった。」に続く文としては、エ「彼は歩くことさえできず、立ち止まった。」が適切。B. 四三が開催した箱根駅伝について、「若いランナーはたくさん丘を上り下りして走るべきだと彼は考えた。」に続く文を考える。ウの湖(lake)は関係ないので、イ「箱根は丘があるのでよい場所だった。」を選ぶ。

要旨：日本にとって初めてのオリンピックのマラソン競技

に、金栗四三は人々の期待を集めて参加したが、暑さや丘の起伏に苦しみ、完走できなかった。帰国後、彼は練習に励み、マラソンの普及のために箱根駅伝を開催した。彼は経験から、若いランナーは過酷な天候の中、丘を上り下りして走るべきだと考えた。参加した多くの若者の中から、後に優秀なランナーがあらわれた。

4 語句を並べかえる問題 52~55ページ

解 答

- ① interesting games played in Japan
② ①A. カ B. ア ②C. ウ D. 才 ③E. 才 F. エ
③ ①sport do you want to ②don't have ball games like these ③the sports that we can play ④ ①a boy who worked at ②tell me how to join
⑤ ①A. エ B. カ ②C. 才 D. ア ③E. ウ F. イ ④G. ア H. 才

解 説

① ナンシーとマコトがオーストラリアの留学生に日本の遊びを紹介する相談をしている。<one of the+最上級+複数名詞>で「最も~なもの1つ」という意味。(one of the most) interesting gamesをうしろから過去分詞played(行われる)が修飾する形にする。「それは日本でされる最もおもしろい遊びの1つです。」という意味。

② ①<tell ~to ...>で「~に…するよう言う」という意味。これにあてはめて'told us to talk about a person'という順にする。「彼女は本の中の人について家で話をしよう私たちに言いました。」という文になる。

② whenの節<when+主語+動詞~>を後半に置いて、'was surprised when I heard about'の順にする。「たくさんの新技術について彼から聞いたとき、私は驚きました。」という文になる。

③ ①と同じ表現を使い、'one of the most interesting stories'という順にする。「彼の仕事についての話は私に

3 空欄補充問題3 48~51ページ

解 答

- ① A. エ B. ウ C. ア D. カ
② I. エ II. ウ ③ ア
④ (1)B (2)エ

とって最もおもしろい話の1つです。」という文になる。

要旨：私（しんご）の日記。本の中から選んだ人物について家で話すようにと先生に言われたので、手塚治虫について父と話した。父は手塚治虫のロボットの話の影響で技術者になったことや、新技術について話してくれた。父の仕事の話はとてもおもしろく、また話をしたいと思う。

③ ①アキラが球技大会の3種のスポーツをあげて「あなたはどのスポーツに参加したいですか。」とたずねている。'What sport do you want to join in?'と、sportをwhatの直後におくことに注意する。

②ジョンは「アメリカの学校にはこれらのような球技大会がないので、すべてのスポーツに参加したい」と言っている。have, likeと、don'tに続く動詞が2つあるように見えるが、likeは「～のような」という前置詞であることに注意。'～ because we don't have ball games like these at my school in America.'となる。

③テニスは女子種目とわかり、「サッカーとバスケットボールが僕たちのできるスポーツです。」とアキラが言っている。the sportsを先行詞とし、<目的格の関係代名詞that+主語+動詞>を続ける。'Soccer and basketball are the sports that we can play.'となる。アキラは午前にはサッカー、午後にはバスケットボールをしようと言っている。

④ ①「～がいた」の意味のthere wasのあとに名詞a boyを続け、主格の関係代名詞who～がうしろからa boyを修飾する形にする。'there was a boy who worked at the festival as a volunteer.'となる。「祭りでボランティアとして働いた少年がいました。」という意味。

②<tell+～+how to …>「～に…のしかたを教える」にあてはめて'Could you tell me how to join it?'という順にする。「私にそれへの参加のしかたを教えてくださいませんか。」という意味になる。

要旨：ジョーが、夏祭りでボランティアの仕事をしていたクラスメートの話を佐藤先生にすると、先生は去年、必要なことは覚えたのに、内気なせいで最初うまくガイドができなかった少年の話をした。彼が人と話す努力を続け、ガイドができるようになったことを聞き、ジョーもボランテ

ィアの仕事をしたいと先生に申し出た。先生は参加のしかたを教え、新しいことに挑戦するのは少し難しいが、人をよい方へ変えられると話した。

⑤ ①9月3日の防災訓練で、最初に校舎から出る訓練をするとりょうたが伝えている。案内の「担任の指導による」を英文にする。<show+～+how to …>「～に…のしかたを教える」にあてはめて、'Our teacher will show us how to go out of the building.'の順にする。「先生が私たちに建物から出る方法を教えてください。」の意味。

②けが人を運び、手当てをする（take care of～）訓練について、案内の「地域の方との合同」を英文にする。withのあとに名詞peopleを置いて、主格の関係代名詞who～がうしろから修飾する形にする。'We will do that with people who live near our school.'の順になる。「学校の近くに住む人々といっしょにそれをを行います。」の意味。

③災害時に最初に家族のために持ち出すもののリストを作る理由を述べる。<It is～for+人+to …>「OOが…することは～だ」の構文にあてはめて、'It is difficult for us to get water or food for three or four days just after a disaster.'の順にする。「災害の直後から3～4日は、水や食糧を手に入れるのは私たちには難しい。」という意味。

④家でリストを作ることも大切で、さらにもう1つ大切なことをあげる。「同じ町の住民はいっしょに住んでいるのだから、お互いに助け合うべきです。」という文を作る。

<because+主語+動詞…>（～なので）を文の後半に置き、'People in the same town should help each other because we live together.'という順にする。each other（お互いに）。

5 文を並べかえる問題 56～59ページ

→ 解答

- ① (1)イ (2)イ ② オ
- ③ ウ ④ 2→3→1
- ⑤ 2→5→4→3→1

→ 解説

① (1) 1文目が「市立図書館への行き方を教えていただけますか。」という<依頼>の文なので、Sure.で始める1が最初にくる。次に3→2順で質問と答えの組み合わせとなるのでイが正解。

訳：1.「いいですよ。まっすぐ行ってレストランの所で右に曲がると、左側に見えます。」2.「歩いて行かなら約10分です。」3.「ここからどのくらいですか。」

(2) 1文目が、「野球の試合のチケットが2枚あるのだけど、明日いっしょに行かない？」という<勧誘>の文なので、Thank you.で始まる3が最初にくる。3の「3時までサッカーの練習がある」に対して、That's OK.（大丈夫だよ。）と答えた1を続けると、Great.（よかった。）と答える2につながる。

訳：1.「大丈夫だよ。試合は6時に始まるので、いっしょに行けるよ。」2.「よかった。待ちきれないよ。何時に待ち合わせようか？」3.「ありがとう。でも3時まで学校でサッカーの練習をしなければならないんだ。」

② 前の文の「外国の人から多くを学ぶことができる」を具体的に説明するケイトの発言3文を並べかえる。1のBut（しかし）はふつう、前に対照的な内容の文があるときに使うこと、2のsuch（そんな）も前の文の語句を受けて使うことがヒントになる。よって、発言の冒頭に来るのは3だと推測する。内容を見ると、3の否定的な内容に対し、1でButに続けて肯定的な内容を述べている。さらに、1のdifferent points of viewを2がsuchで受けている。よってオの語順となる。

訳：1.しかし、他国に友達がいると、その友達から違った視点を学ぶことができる。2.そのような違った視点を持つことで、他国をよりよく理解することができる。3.現在、世界には、他国と友好関係にない国がいくつかある。

要旨：ケイトは外国で学ぶ利点として「現地では他国の文化をよりよく理解できる」「外国の人から多くを学ぶことができる」の2点をあげた。彼女の「他国の1人の友達が世界に対する自分の視点を変えられる」という話で、サキは「他国で学び、そこでたくさんの友達を作る」という将

来の目標を見つけたので、彼女に感謝している。
③ ホワイト先生の「なぜ近くに店がないのか」という質問に答える文章を作る。3つの文の起こった順を考えると、1, 2が3より前だとわかる。2のIn the old days（昔は）が文章の冒頭に来ると考え、それに1を続ける。3でその後の状況を述べ、本文のSo以下で結論を述べている。

訳：1.人々はほしいものをすぐに手に入れることができた。2.昔は、この近くに何軒か小さい店があった。3.しかし人々は年老い、村には新しい住人がほとんどやって来なかった。few～（～がほとんどない/いない）。

要旨：ホワイト先生は村の生活が気に入っているが、1つの難点が、交通の便が悪いのに店が近くにないことである。拓也の祖母も店で人と話す機会が無くなったと不満を言っている。ホワイト先生が理由を聞くと、拓也は村の高齢化や過疎のため、客の数が十分ではないので、店主は閉店しなければならなかったと説明した。

④ 由香がダウンロードした音楽の音が好きではない理由としてあげた、あるミュージシャンのセリフ3文を並べかえる。1のSo（それで）は結論を言うときに使うので、ふつう前に文が必要であること、3のBut（しかし）はふつう、前に対照的な内容の文があるときに使うことがヒントになる。よって、セリフの冒頭に来るのは2だと推測する。内容を見ると、2のダウンロードが流行しているという内容に対し、3でButに続けて「音がよくないので好きではない」と述べているので、2→3の順でつながる。1の「CDで聞いてほしい」が結論なので最後に来る。

訳：1.それで私のファンには私の曲をCDで楽しんでもらいたい。2.たくさんの人が私の曲をダウンロードして入手したがっているのは知っている。3.しかし、ダウンロードした曲の音はよくないので、好きではない。

要旨：マーティン先生が、多くの人がCDを買わずにダウンロードで音楽を入手していることに対する意見を求めている。信吾は家で入手の方がCDショップに行くより簡単なので賛成し、由香はミュージシャンの意見を紹介しながら、音がよくないという理由で反対している。

⑤ 文を起こった順に並べるためには、本文の流れを把握する必要がある。各段落の内容の簡単なメモを作ると解き

やすい。第1段落：佐々木先生にペットボトルについて考えるよう言われる。第2段落：家族と話し合う。第3段落：生徒会で話し合い、アーチを作る計画を決める。第4段落：生徒集会で説明し協力を求める。第5段落：文化祭当日のようす。第6段落：文化祭後の生徒のようす。第7段落：計画から学んだこと。

選択肢を段落にあてはめると、1—第5, 2—第1, 3—第4, 4—第3, 5—第2となり、順番がわかる。

訳：1. 校門で多くの人がペットボトルのアーチを見た。2. 佐々木先生は順子になぜ校門の近くにペットボトルが落ちているのかたずねた。3. ヒデキと順子は生徒集会で計画について話をした。4. タツヤは生徒会にペットボトルを大量に集める方法をたずねた。5. 順子の父は彼女に、彼女のアイデアについて生徒会で話し合うよう言った。

要旨：佐々木先生の指摘から、順子は家族にペットボトルの利用法を聞き、ペットボトルでリサイクルのシンボルを作ることを思いついた。生徒会でアーチに決定し、生徒集会で説明したり、ペットボトルを集めたりして、みんなの協力のもと、アーチができていった。文化祭ではみんなの関心を引き、その後もペットボトル収集が続いている。これを通してもの見かたを変えることと、新しい考えを分かち合い、みんなで取り組むことの大切さを知った。

英問英答問題 1 — 選択問題・空欄補充問題 60~63ページ

- 解答
- ① イ ② (1)ウ (2)イ
 - ③ (1)went to, newspaper company
(2)calling some people (3)make even, small mistake (4)had [has] to, many things
 - ④ A. make B. nature

⇒ 解説

① 質問は「これらの2つのEメールから何がわかりますか。」なので、本文と内容の合った文を選べばよい。ア・イは「だれがだれに何をしたか」、ウ・エは「だれが何を

するか」をよく読み取るようにしよう。ア。「サチエはアマダに、アマダが見たい映画について教えてくれるよう頼んだ。」サチエはEメールの最後で「何をしたいか」とたずねているが、映画の話題は出していない。イ。「アマダはサチエに、日本で人気のある映画について教えてくれるよう頼んだ。」アマダのEメールの最後の文に、「もし人気のある映画 (one=movie) があつたら、それについて知らせてください。」とあるので、これが正解となる。ウ。「サチエはアマダが再びサチエの学校を訪れると知ってうれしい。」アマダのEメール2, 3文目の旅行の予定に学校訪問は入っていない。エ。「アマダはサチエが大阪まで会いに来ると知ってうれしい。」アマダのEメールの3文目で、彼女の方から神奈川まで会いに行くことあるので間違い。

要旨：去年、サチエの学校を訪問したアマダが家族と再来日するので、サチエは会ったときの希望をたずねている。アマダは大阪、京都の訪問のあと神奈川のサチエに会いに行くこと、日本で人気のある映画が見たいことを伝え、それについて教えてくれるよう頼んでいる。

② 質問に関連する英文を会話の中からの的確に見つけ、下線を引いておこう。

(1) 質問は「ジムは対馬でどんな写真を撮るつもりですか」。アは「飛行機」、イは「そこ(対馬)の人々」、ウは「野生動物」の写真を撮るという文。ケンが2番目のセリフで、対馬に行くというジムにWhat kind of pictures are you going to take? (どんな写真を撮るつもりですか。) とたずねている。ジムはWild animals. (野生動物です。) と答えているのでウが正解。
(2) 質問は「ジムはなぜ彼の写真を人にあげるのですか」。アは「彼が偉大な写真家であると知ってほしいから」、イは「野生動物がかかえた問題について考えてほしいから」、ウは「写真にメッセージを書いてほしいから」という文。ジムは7番目のセリフで、I want people to see my pictures and remember that wild animals have many problems. (私は人々に写真を見て野性動物が多くの問題をかかえていることを思い出してほしい。) と言っているため、イが正解。ウのメッセージは人に書いてほし

いではなく、ジムが自分で書いている(6番目のセリフの2文目)。

要旨：対馬に野生動物の写真を撮りに行くジムが、ケンにタスマニアデビルなどの絶滅危惧種の野生動物を助けるために、写真を撮ってメッセージを書き、人々に問題を知ってもらおうとしていると話す。ケンもツシヤママネコの減少をあげ、学校のスピーチで野生動物問題について話すことを伝える。

③ 受け答えの文の空欄補充問題。本文から関連する文を選び、答えの文に合った形に単語を書き直して補充することが大切。同じ語句を使った文を中心に関連する文をさがそう。

(1) 質問は「みさきはどこで記者の仕事について学ぶために、どこへ行きましたか」。関連する文は2文目のI visited a newspaper company to learn about a reporter's job. (記者の仕事について学ぶために新聞社をたずねました。) 答えの文には〔 〕が2つあるので、went toを入れるのがポイント。

(2) 質問は「みさきがついてまわったとき、佐藤さんはどうやって情報を手に入れましたか」。関連する文は8文目のThen he called some people to get information. (それから彼は情報を手に入れるためにだれかに電話をしました。) 答えの文にはbyがあるので、下線部をby ~ing (~することによって) という表現に変える。

(3) 質問は「佐藤さんはなぜ何度も記事を見直すのですか」。関連する文は10文目のHe checked his article again and again because he could not make even a small mistake. (彼は小さなミスでさえすることができないので、記事を何度も見直しました。) これは本文の単語を抜き出してそのまま書けばよい問題。

(4) 質問は「1日の終わりにみさきは記者の仕事についてどう思いましたか」。関連する文は13文目のI think a reporter has to do many things to write an article. (記者は記事を書くためにたくさんをしなければならぬと思いました。) 答えの文の動詞がthoughtと過去形になっているので、hasは基本的にはhadに直すが、現在もそれは事実なのでhasでもよい。

要旨：みさきは記者の仕事を学びに新聞社に行き、佐藤さんに1日ついてまわって、記者は正確にニュースを伝えるためにたくさんをしなければならぬということがわかったと佐藤さんに話した。そのことをジェニーにEメールで伝えている。

④ 質問の「動物園と水族館の重要な目的は何ですか。」に対して、Bでは「2つ重要な目的があると思う。」と答えていて、One ~ and the other ... (1つは~, もう1つは...) で2つの内容を説明している。1つ目の目的はOne is to A people happyとなる。Aには、第1段落1文目のMost zoos and aquariums have something to make people happy. (大多数の動物園と水族館には人々を幸せにするような何かがあります。) から、makeが入る。<make+~+...>で「~を...にする」という表現。もう1つの目的はand以降の文。Bには、第2段落1, 2文目のZoos and aquariums have another important purpose. That is to study about nature and preserve it. (動物園と水族館にはほかにも重要な目的があります。それは自然について研究し、それを保護することです。) から、natureが入る。文章全体から関連文を的確にさがすことで正解できる。

要旨：動物園や水族館の目的の1つは人々を楽しませることと、夜行性の動物を見せる「夜間動物園」など、生き物の自然な生活を見せようと努力している。もう1つは、自然について研究し、保護することで、絶滅のおそれのある動物の生態を研究し、守ろうとしている動物園や水族館もある。そこでは生き物を見て楽しむと同時に自然保護の大切さを考えさせられる。

英問英答問題 2 — 英文を書く問題 64~67ページ

- 解答
- ① (1)No, he didn't. (2)He ran.
 - ② (1)It took four hours. (2)Yes, he did.
 - ③ (1)Yes, he was. (2)Because their stories are interesting and their pictures are beautiful.

④ (1) No, they didn't. (2) It is a big animal like a cow with long hair. (3) Because they are warm and beautiful.

解説

① (1) 質問は「タケシは去年の運動会を思い出したとき、楽しい気持ちになりましたか」。関連する文は第1段落2文目のWhen he thought about last year's race, he became sad. (彼は去年の運動会を思い出すと悲しくなりました。) ここから答えはnoだとわかる。質問に合わせてNo, he didn't.と答える。

(2) 質問は「タケシは今年運動会のために、毎晩何をしましたか」。関連する文は第4段落2文目のHe ran from his house to the station every evening before dinner. (彼は毎晩夕食前に家から駅まで走りました。) 何をしたかわかればよいのでHe ran.で正解となるが、指示は2語以上なのでfrom以下を加えてもかまわない。

② (1) 質問は「ツトムの家からコウジの家の近くの駅までどのくらいかかりましたか」。関連するのは第3段落1, 2文目Tutomu left his house with Shin on Saturday morning. Four hours later they arrived at the station near Koji's house. (ツトムは日曜日の朝、シンといっしょに家を出ました。4時間後に彼らはコウジの家の近くの駅に着きました。) から4時間かかったとわかる。答えは質問に合わせてIt took ~.で答える。

(2) 質問は「シンは先生の質問の答えを見つけましたか」。先生の質問は第1段落6文目のCan you find any good things about the country? (田舎に何かよい点が見つかりますか。) シンは第6段落3文目でI found some good things about the country. (田舎によい点を見つけました。) と言っているため、答えはyesだとわかる。

要旨: 「都会と田舎のどちらに住みたいか」という先生の質問に、ツトムの友達のシンは「都会には何でもある」と答えた。ツトムは父の勧めで、田舎に住む祖父コウジの家にシンを連れて行った。そこで黄金の海のように揺れる稲穂、風が稲穂を揺らす音楽のような音を見聞きし、おいしいおにぎりを食べながらコウジの話聞いたシンは、田舎

のよさを知って、自分も稲を育てたいと言った。

③ (1) 質問は「ジョンは書店で漫画本を見て喜びましたか」。書店に着いたときのジョンの言葉として2文目にI'm really happy because there're so many comics here. (ここにはたくさんの漫画本があるので僕は本当にうれしいよ。) とあるので、yesと答える。主語と時制に注意。

(2) 質問は「ジョンはなぜ日本の漫画本とアニメが好きなのですか」。聡美の「なぜ好きか」という質問に答えた最後の文their stories are interesting and their pictures are beautiful. (ストーリーがおもしろく、絵が美しい。) の冒頭にBecauseをつけて答える。

要旨: ジョンは書店で日本の漫画本を見て喜び、聡美は自分がよく読む熊本の漫画家の作品が彼も好きだと知ってわくわくした。彼は日本の漫画本やアニメはストーリーがおもしろく絵が美しいので好きだと言った。

④ (1) 質問は「ジェーンとナンシーはアジアの国の村を訪れたあとに友達になりましたか」。第1段落1, 2文目Jane and Nancy were two young women who studied business at college in America. They soon became friends because they had a dream. (ジェーンとナンシーはアメリカの大学でビジネスを学ぶ2人の若い女性でした。彼女たちは夢があるのですぐに友達になりました。) から、アジアの国を訪れる前から友達だったとわかるので、noと答える。

(2) 質問は「ヤクとはどんな動物ですか」。第4段落1文目A yak is a big animal like a cow with long hair. (ヤクとは毛の長い牛のような動物です。) の主語a yakをitに変えると答えになる。

(3) 質問は「彼女たちの製品はなぜ世界中で人気になっていますか」。Why ~?の答えなので、第8段落2文目Their products are popular around the world because they are warm and beautiful. (彼女たちの製品は暖かくて美しいので、世界中で人気になりました。) の下線部を独立した文にして答える。

要旨: 大学の同窓生ジェーンとナンシーは、世界をよくするようなビジネスをしたいという夢を胸にアジアの国を訪れたが、現地の生活がわかっていないと、最初は受け入れ

られなかった。しかし、学校に行けない子どもたちのために何かしなければならぬと思い、村で毛糸の手袋を目にして、ヤクの毛を売るというアイデアを思いついた。彼女たちを信じない住民を何度も説得して理解を得て、紡績工場や編み手を見つけて、ついに製品を売り出し、製品は暖かさと美しさから世界中で人気となっている。彼女たちの経験は「夢があるならあきらめてはならない」ということを教えてくれる。



内容正誤問題 1

68~71ページ

解答

- ① I. ウ II. ア
- ② イ ③ エ, オ
- ④ ア, エ ⑤ ウ, エ

解説

① I. アは3文目「新しい星を発見するのが彼女の夢だ」から、まだ発見していないことがわかるのでまちがひ。イは4文目で、テレビで今年(2012年)の日食の日付けを知ったと言っているためまちがひ。ウは5, 6文目「3年前の2009年には日本では多くの人が悪天候のせいで日食が見られず、ユミも見られなかった。」に一致する。エは7文目で5月21日の好天候を望み、8文目で「本当に日食を見たい」と言っているため、自分の住む町で見ることができるとわかる。

II. ア。「買い物、食事、映画が楽しめるのでショッピングセンターが好きな人もいます。」という意味なので2, 3文目「ショッピングセンターで買い物をするのが好きな人がいる。センターでは映画やいろいろな食事を楽しめる。」に一致する。イは「そこで働けるので、家の近くで買い物をするのが好きな人もいます。」という意味なので、6文目「彼ら(家の近くで買い物をする人)は、そこで働いている人との会話を楽しむ。」に合わない。ウ。「何も買いたくない人はショッピングセンターの近くの店に行くのが好きだ。」このような記述はない。エ。「インターネットで買い物を

する人はショッピングセンターで買い物するより時間を多く必要とする。」最後の文「インターネットでの買い物では、ふつう買いたい物が簡単に見つかるので時間を節約できる。」に合わない。

② ア。「マキは去年体育館に行くときに足にけがをした。」1文目「公園で走っているときに足にけがをした。」に合わない。イ。「マキが学校の中を移動するとき、友達はいつも親切だった。」第2段落の「教室の移動が大変で、教室が3階なので体育館に行くのに時間がかかったが、友達がいつもいっしょにいてすいぶん助けてくれた」という内容に一致する。ウ。「マキは毎週金曜日に母の車で学校に行った。」第3段落3文目「毎週金曜日は、母が早く出勤しなければならぬので、電車で行かなければならなかった。」に合わない。エ。「マキの母は困っている人を助けるように彼女に言った。」第4段落「これらのこと(友達が助けてくれたことや、満員電車で乗務員がいつも座席を確保してくれたこと)が私に、助けを必要としている人のために何をすべきかを教えてくれた。」から、母が言った教訓ではないことがわかる。

③ ア. 文章のどこにもアメリカの学級新聞への言及はない。イ. 本文6文目「もう一度会いたがっている友達もいれば、アメリカでの過ごし方を知りたがっている友達もいます。」から、文の後半は正しいことがわかるが、前半が本文4文目「あなたは3か月前にアメリカに帰りました。」に一致しない。ウ. 本文8文目「次の2つの質問(私たちの学校での一番気に入った思い出は何か、アメリカで冬休みをどのように過ごすか)に答え、私たちにメッセージを書いてほしいです。」に合わない。エ. 13文目「11月30日より前に答えとメッセージが必要です。」に一致する。オ. 14文目「学級新聞に載せたいので、アメリカでの写真をもらえると、とてもうれしいです。」に一致する。カ. 15文目に「学級新聞が完成したらすぐに送ります。」とあるが、12月中とも確認してもらいたいとも言っていない。

④ 設問が本文の内容と合わないものを選ぶよう指示している点に気をつけよう。ア。「広子は幼稚園児といっしょに紙芝居のストーリーを作った。」第2段落1, 2文目「グループには4人いて、私たちは4人の登場人物のいる独自

のストーリーを作り、絵を描き始めた。」から幼稚園児は参加していないことがわかり、合わない。イ。「佐藤先生は広子のグループが作った紙芝居の演技を見た。」第3段落2, 3文目から佐藤先生に演技を見てくれるよう頼み、助言をもらったことがわかるので一致する。ウ。「広子は演技をもっとよくするように、ほかのメンバーと話し合った。」第4段落1文目「それから私たちは演技について話し合った。」に一致する。エ。「広子のグループは学校に来た子どもたちに紙芝居を見せた。」第5段落1文目「幼稚園を訪問する日が来た。」に合わない。オ。「子どもたちに紙芝居を見せるのは広子にとって最もやりがいのある活動の1つだった。」第8段落1文目「これは私が今まで経験した中で最もやりがいのある活動の1つだった。」に一致する。

要旨：広子はグループで紙芝居を作り、幼稚園児に見せることになった。独自の紙芝居を作り演技を練習したがうまくいかず、佐藤先生から「役になりきるように」という助言をもらった。話し合いをして、場面ごとに声の調子を変えたり、感情をこめて役を演じたりすることで演技は改善した。幼稚園での紙芝居の当日は、子どもたちがとても喜んでくれ、再演を望んでくれた。これは最もやりがいのある活動の1つだった。

⑤ 対話文のセリフから内容を読み取る問題。だれの発言であるかにも注意して正誤を判定しよう。ア。「KayoとRyotaはカナダに関する本を読んでいる。」Kayoは1番目の発言で、「日本文化に関する本を読んでいる」と言っているので合わない。イ。「RyotaはKayoとMaryを自分の家に招待した。」Ryotaの2番目の発言「昨日、Kayoは僕を彼女の家に招待してくれました。」に合わない。ウ。「KayoとRyotaは日本文化についてもっと学びたがっている。」Brown先生の「それで日本文化についてもっと学ぶためにこれらの本を読んでいるのですね。」という発言に、Kayoが4番目の発言の1文目で「はい、そうです。」と答えているので合っている。エ。「日本人は日本を世界に紹介すべきだとKayoは言っている。」Kayoの4番目の発言の3文目「私たちは自分の国も理解し、それを世界に紹介すべきです。」に一致する。オ。「RyotaはMaryから

日本文化についてたくさん学んだ。」Ryotaは3番目の発言の3文目で「カナダについて(Maryから)たくさん学んだ。」と言っているが、日本文化を学んだとは言っていない。

要旨：KayoとRyotaは、カナダからの留学生Maryからカナダのことを学んだのに、俳句、短歌、茶道など日本文化をうまく説明できなかった。それで、Maryにたくさんのことを教えられるよう日本文化についての本を読んでいるとBrown先生に話した。Kayoは他国の文化を理解することは重要だが、自国の文化も理解し世界に紹介すべきだと言った。

内容正誤問題 2 72~75ページ

解答

① エ

② (1)ウ (2)ア (3)ウ

③ (1)ア (2)イ (3)エ (4)イ

解説

① 「寝る前にすべきではないことを教えてください。」という質問に、First, Second, Thirdで始めて3点あげている。1つ目は「寝る前にたくさん食べるべきではない。夕食後から寝るまで3時間あける」。2つ目は「激しいスポーツをすべきではない」。3つ目は「おもしろいテレビ番組があるが、夜遅くまでテレビを見るべきではない」。これにあてはまらないのがエの入浴しているイラスト。

② 空欄に適切な語句を選んで、内容の合う英文を完成させる問題は、選択肢の内容が似通っている場合があるので、よく読みこむ必要がある。

(1) 「去年、香葉子は和歌山で〔 〕。」ア。「家族と泳ぎに行った」イ。「漁師といっしょにマグロを捕まえた」ウ。「漁師の家に泊まった」エ。「親友に会いに来た」香葉子の修学旅行の話題。第2段落1, 2文目から、香葉子と友達は漁師の鈴木さん宅に泊まったことがわかるのでウが正解。イ。第3段落で養殖マグロにえさはやったが捕まえたとは

言っていない。

(2) 「和歌山で、鈴木さんは〔 〕。」ア。「マグロを育てようとしている研究者を手伝った」イ。「マグロについて研究する研究者になった」ウ。「香葉子にマグロの捕まえ方を教えた」エ。「香葉子にマグロについて勉強するよう言った」第2段落5, 6文目で鈴木さんが「研究者がマグロを育てようとし、この町の人を手伝った。私も彼らを手伝った。」と言っていることから正解はア。

(3) 「香葉子は〔 〕と思った。」ア。「インターネットで学ぶことは最もわくわくする経験だ」イ。「インターネットを使うことは人々にたくさんの経験を与える」ウ。「経験することは彼女にたくさんのことを教えてくれる」エ。「経験から学ぶことはとても難しい」第6段落3文目「私たちは経験から多くを学ぶ(のでたくさん経験を積むべきだ)」を言いかえたウが正解。ア、イはその前の文で、インターネットで調べるより自分の目で見ることが感動的だと言っているから合わない。

要旨：香葉子は修学旅行で和歌山の漁師の家に泊まり、養殖マグロにえさをやる、魚を調理する、イルカといっしょに泳ぐなど、初めてのよい経験をした。実際に経験することは感動的で多くのことを学べると思った。

③ (1) 「5年前」につなげる。ア。「ウィリアムはボブの学校の生徒だった。」イ。「1人の若者がウィリアムの大学に来た。」ウ。「ウィリアムは大学生だった。」エ。「1人の若者がボブの学校に来た。」第1段落3文目の「彼(ウィリアム)は5年前、僕(ボブ)たちの学校の生徒でした。」からアが正解。エ 若者がボブの学校に来たのは昨日。

(2) 「ウィリアムは公園を歩いているとき、〔 〕を知りたかった。」ア。「ボブはなぜ公園で雲を見上げたのか」イ。「公園のアリはどのように生活していたか」ウ。「彼の家の鳥はどこへ行ったか」エ。「両親は家で何の本を読んだか」第2段落3, 4文目の「ウィリアムは公園を歩いているとき、『これらのアリはどうやって生活しているのだろう。』『あれらの鳥はどこへ行くのだろう』と考えた。」から、ウは不適切で、正解はイだとわかる。

(3) 「ウィリアムは毎週日曜日に公園に行つて」につなげる。ア。「本に載っている公園の写真をたくさん見た。」イ。「公

園でクモに関する多くの種類の本を書いた。」ウ。「公園でいっしょに研究をしている友達に会った。」エ。「公園でいろいろな種類のクモを見つけた。」第3段落4文目の「彼は公園で多くの種類のクモを見た。」からエが正解。第3段落3文目「クモについてわかったことをノートに書き、クモの写真をたくさん撮った。」からア・イは不正解。

(4) 「クモの巣のように優れた繊維が作られたら」につなげる。ア。「ボブはそれで高層ビルを作りたい。」イ。「ボブは映画の登場人物のようにそれで人々を助けたい。」ウ。「ウィリアムは大工のためにそれで丈夫なロープを作りたい。」エ。「ウィリアムはボブのチームで研究し、それで人々を助けたい。」第5段落8文目の「僕(ボブ)は『映画の登場人物のように、人々を助けるためにそれを使いたい』と言った。」からイが正解。ウ。ロープを作りたいと言ったのは、ウィリアムではなくボブの学校の生徒。

要旨：ボブの学校を卒業生のウィリアムが訪れ、生徒だった頃、空の雲やアリなどいろいろなものに興味を持ち、特に公園のクモを熱心に研究したと話した。ウィリアムは大学でもクモを研究し続けていた。特におもしろいのはクモの巣で、この研究成果を将来に生かしたいと言った。クモの巣のような優れた繊維が作られたら、映画の登場人物のようにそれで人々を助けたいと発言したボブに、ウィリアムは自分のチームに入っていっしょに研究するよう勧めた。そして、興味のあることが見つかったら、それについて考え、研究するよう生徒たちに言った。

日本語で説明する問題 1 76~79ページ

解答

① ウ, エ

② イ ③ イ

④ イ ⑤ (1)ウ (2)イ, オ

解説

いろいろな指示にしたがって、日本語の選択肢の中から正解を選ぶ問題。設問をよく読もう。

① ア. 料理を紹介するという記述はない。イ. 第1段落5文目で「ほとんど毎日塩を使っているが、塩についてあまり知らなかった。」と言っているが、使う塩の量にはふれていない。ウ. 第2段落2, 3文目「電話、コンピューター、テレビのいくつかの部品はプラスチックでできている。塩はしばしばそれ(プラスチック)を作るために使われる。」に一致する。エ. 第2段落4, 5文目「ある場所では、塩は冬に通りで使われる。それは通りの雪や氷をとかす。」に一致する。オ. 第3段落後半で、「salary」は「sal」(ローマ人の言葉で「塩」の意味)からきている。「労働後に塩がもらえることから、仕事のあとにももらえるお金が「salary」と呼ばれるようになった」と説明されているが、お金の単位だったという記述はない。

要旨: 塩は身近な食品だがよく知らないで調べてみた。塩はプラスチックの材料になったり、通りの氷や雪をとかすために使われたりして用途が多いが、言語にとっても重要で、salad, salaryなどはローマ人の言葉sal(塩)を語源としている。塩は私たちにとても重要である。

② ア. 2, 3文目で、トモミはショウタの犬小屋作りを手伝いたが、ショウタが「No, thank you,」と断っているので合わない。イ. 4文目前半「トモミは泣き始めた」に一致する。ウ. 6文目で、ショウタではなく母がサラダ用のトマトを2個買いにいこう頼んでいるので合わない。エ. 8文目に「10分後に彼女(トモミ)は満面の笑みで、手に2個の大きなトマトを持って帰ってきた。」とあるので合わない。

③ 指示語thatはしばしば直前の語句や文を指すが、このthatも、直前の母のセリフ(来週末に町に来るカナダの若者が、だれかに英語で説明をしてほしいと言っているが、やってみてはどうか)の中のto explain some things in Englishを指している。ア, ウ, エも本文中にあるが、thatが指す内容ではない。

要旨: 理子の家族は、自然が美しい京都の小さな町で農業をして暮らしている。いろいろな場所から訪れる人に自然や文化を紹介しているが、ある日、母が翌週末に来るカナダの若者に英語で説明をするよう理子に勧めた。理子は最初は難しいと断ったが、父に「一所懸命やればできる。外

国人と話すのは素晴らしいことだ」と言われ、挑戦してみることにした。

④ 文章の表題を選ぶ問題。この文章は、冒頭の文で主題を述べ、そのあとに具体的な説明が続く構成になっているので、冒頭の文「現在、多くの人が地元で生産された肉や野菜を食べようとしている。」に注目すると、正解はイとなる。本文でsafe(安全な), car(車), environment(環境)などの語が使われているが、ア・ウは主題ではない。要旨: 多くの人が地元で生産された食品を食べるのは、新鮮で安全だから、地元の農家を援助することになるから、地元で車を出荷すればガソリンが少なく済み、環境によいからなどが理由である。

⑤ (1) 第2段落の最初のあたりで交通手段を述べている。2文目「母が車で鉄道の駅まで連れて行ってくれ、それから富山市に行くのに電車に乗った。」と3文目「富山市の鉄道の駅に着いたあと、映画館に行くのにバスに乗らなければならなかった。」から、正解はウ。自動車と自転車を読み間違えないように注意しよう。

(2) ア. (1)の問題から、母は富山市ではなく地元にいることがわかるので合わない。イ. 第2段落4文目前半の「両親はときどき僕と姉[妹]を車で映画館に連れて行ってくれる」に一致する。ウ. 第3段落6文目に、「話をしていたときに、バスの中でとても年老いた女性を見た。」とあるが、「電車に乗ってくるのを見た」の部分が一致しない。エ. 第3段落3文目「バスにはたくさんの人が乗っていたが、僕たちは座ることができた。」から、「バスの中で立ちながら」の部分が一致しないことがわかる。オ. 第5段落の最後の文「僕は本当にその高校生のような人になりたい。」に一致する。

要旨: 正広は友達といっしょに富山市の映画館に出かけたが、駅で映画館行きのバスがわからずに困っていると、バスを待っていた男性が停留所まで案内し、映画館の近くの停留所の名前を教えてくれた。映画を楽しんだあと、混んでいるバスで座ることができ、楽しく映画の話をしていたとき、手に大きなかばんを持って立っている老婦人を見た。急ブレーキがかかったときに危険なので席を譲ってあげたかったが、言い出せないでいると、前に座っていた高校生

が席を譲った。帰宅後、家族に男性と高校生の話をすると、父は、彼らは親切だったが、正広は席を譲りたかったのにできなかったことを指摘した。だが、それ以上は何も言わずに笑って彼の肩をたたいた。正広は、父は人に親切にす勇氣を持ってと言いたかったのだと考え、知らない人も「思いやり」を持って声をかけようと決心した。

日本語で説明する問題2 -記述問題① 80~83ページ

解答

- ① X. 新しい命 Y. 壊されて Z. 病気の人たちが、早く回復できる
- ② (1) X. お互いの顔を見て話ができる Y. 電子(E)メール (2) (例) 健の家族を多くの旅行者が訪れる場所に連れて行くことや、トムの家でいっしょに夕食を食べること(45字)
- ③ (1) アンナの国では、デパートやスーパーマーケットのような多くの店が日曜日は開いていないこと。(2) X. ケーキを作る Y. 喜ばせる
- ④ (1) イ (2) X. 勉強に必要なもの Y. 学校に行かずに働かなければならないから

解説

① bring, prayなどのキーワードに着目して空欄に関連する英文を本文からさがし、要約文の日本語表現に合った形で語句を補充しよう。

X. 2文目A woman brings new life into the world.が関連する文。下線部を訳せばよい。

Y. 7文目They were broken by the people who used them a long time ago.の下線部を、要約文に合わせて「壊されて」と訳す。「昔それらを使った人々」が「昔の人たち」と言い換えられていることに気付こう。

Z. 8文目 So some people say that dogu were used to pray that sick people could get well soon.のthat以下が祈る内容を表す。get well(回復する)。

② (1) 2番目のトムの発言We can see each other's faces. E-mails are good, but talking on the Internet

is more exciting.をまとめる。more excitingのあとにthan E-mailsがあると考えると要約文にする。

(2) ②は「僕の家族は喜ぶと思うよ。」という意味。健がThank you.と言っていることから、その直前のトムの発言が提案の内容だと推測する。「君の家族を多くの旅行者が訪れる場所に連れて行ってあげるよ。それと、僕の家に来て夕食をいっしょに食べてね。」という会話を、解答の文のように人称代名詞を具体的な人の名前に変えて客観的な説明文に直すことがポイントとなる。文字数にも注意する。many tourists visitはplacesを後ろから修飾している。take ~ to ... (~を...へ連れて行く)。

要旨: 年の始めに、健がインターネットのテレビ電話で、8月にシドニーに家族旅行することをトムに伝えると、トムは観光案内や家への招待を申し出てくれた。トムは8月は冬服が必要なこと、現在は夏休み中でサッカーや水泳を楽しんでいることを健に伝えている。

③ 指示語thatの内容なので直前の発言を中心に関連文をさがそう。答えの文の表現にも注意する。

(1) アンナの1番目の発言を指す。thatの指す内容を説明する文なので、myは「アンナの」とし、最後は「~こと」という表現にする。

(2) アンナの3番目の発言の3, 4文目On my father's birthday, he always makes cakes. He brings them to his office and gives them to his friends to make them happy.を指し、下線部が答えとなる。<make+名詞+形容詞>は「~を...にする」という意味で、Yは「幸せにする」でもよい。

要旨: 優子が日曜日に買い物に行こうと誘ったのに対し、アンナはドイツでは多くの店が日曜日には閉まることを伝える。父の誕生日ケーキを買うという優子に、アンナは誕生日のケーキを自分で作って友達に配るドイツの習慣を説明し、今年は父のケーキを作ることを提案する。優子は父が喜ぶだろうと思いつ成する。

④ (1) 下線部①の次の文がThat means ... (それは...を意味する)で始まっていることから、...の部分が下線部の説明だと判断してイを選ぶ。literacy rate(識字率), almost all ~ (ほとんどすべての~)。

(2) 前文の「なぜ、小学校に行くことができない子どもがたくさんいるのでしょうか。」という問いを受けて、I've found a reason. 「理由が1つわかりました。」とやっていることから、そのあとに理由を述べると判断する。直後の3文が設問の日本語にあたる。Xに対応するのはSo some parents can't buy things their children need for studying. の下線部分。「子どもたちが勉強するのに必要とするもの」という意味だが、これを日本語に合うよう言いかえる。下線部ではtheir children need for studyingが前のthingsを修飾している。Yに対応するのはThese children have to work without going to school の下線部分。最後は理由を表す「～から」という表現にする。without ~ing (～せずに)。

要旨：世界のすべての人が読んだり書いたりできるのだろうか。日本では識字率はほぼ100%だが、バングラデシュでは約50%しかない。バングラデシュでは小学校5年間が義務教育で学費もあまりかからないが、小学校での勉強を続けられない子どもが多い。貧しさで親は学用品が買えず、子どもも働かなければならないからである。ボランティアグループを通じて海外から援助のお金が送られている。

日本語で説明する問題2
—記述問題②—

84~87ページ

→ 解答

- ① (1) ① 困難な問題があるときに、努力するのをやめるべきではないこと。 ② すばらしい技術者になり、世界中の困っている人々のために働くこと。
(2) 東南アジアでは、日本で作られたろ過器を使って、川の水をきれいにしてお飲むことができる。
② Aya：動物の赤ちゃんがどのようにして生まれるか。／それぞれの動物が何を食べるか。
③ 駅で手軽に買うことができる。／包装紙のさまざまなデザインや弁当箱の違った形を楽しむことができる。／列車でその土地の食べ物を手軽に楽しむことができる。(以上のうち2つを答える。)
④ (1) 方言 (2) ふだんラジオやテレビで標準的な

日本語を聞いていること。(3) だれも出雲弁を理解しないと聞いたから。

→ 解説

完全な文で答える問題は、自然で正しい日本語の文を作ることが大切。文末の表現にも注意しよう。

- ① (1) 名詞や代名詞の指す内容を答えるので、最後を「～こと」にして該当する英文を訳す。
① 「彼らの話からこれを学んだ。」の「これ」は前の文We should not stop trying hard when we have difficult problems.を指している。
② 2つ前にI want to ~ (私は～したい) で始まる文があるので、これが「私の夢」の内容だと判断する。文中のthose peopleは、さらにその前の文のpeople who have troubles around the world (世界中で困っている人々)を指すと考え、解答に入れる。
(2) 新聞記事の見出しは「日本の浄水装置(水のろ過器)が東南アジアの人々を救う」。どのようにして救うかは第2段落に詳しく書かれているので、これをまとめる。ろ過器で川の水を飲料水に変えられるようになったということがポイント。
要旨：[新聞記事：東南アジアでは、日本の浄水装置で川の水を飲料水に変えている。技術者は自分たちの仕事で東南アジアと日本の関係がよくなることを望んでいる。] 東南アジアでろ過器を実用化にこぎつけるまでに、日本の技術者は問題解決のために大変努力したことや、ほかにも世界中の人々のために働き続ける日本の技術者がいることをインターネットの情報で知った。困難なときにも努力をやめるべきではないことを学んだ。将来、すばらしい技術者になって世界中の困っている人を助けるという自分の夢を、日本の技術者と同様、決してあきらめないつもりだ。
② Ayaが3番目の発言でWhen I visited a zoo last year, I got a chance to learn a lot of things about animals (去年、動物園に行ったとき、動物についてたくさん学ぶ機会があった)と言っている。さらに4番目の発言で、Do you know how baby animals are born and what each animal eats?と質問し、I learned about

them in the zoo. (私は動物園でそれらについて学んだ。)と言っていることから、下線部が学んだ内容だとわかる。

要旨：動物園が好きだというShinとAyaに対して、Kenは狭い場所で暮らす動物がかわいそう、Kaoriは芸をさせられるのは動物にとってよくないと言って、動物園に否定的な意見を述べている。動物園によい点はないかというブラウン先生の質問に答えて、Ayaは動物園の職員が動物についてたくさんのことを教えてくれる点をあげ、自分が学んだことを紹介している。(後略)

③ 「3つの(よい)点」は、次の文以降でFirst, Second, Thirdを文頭に置いて説明しているのを見つけやすい。1つ目：you can easily buy lunch at the stationを訳す。2つ目：you can enjoy various designs of wrappings and different shapes of ekiben boxesを訳す。3つ目：you can easily enjoy local foods on the trainを訳す。これらから2つを選んで解答する。

要旨：駅にはよい点が3つある。1つ目は昼食が用意できなくても好きな駅弁を駅で簡単に買えること、2つ目はさまざまなデザインの包装紙や、貝がらや電車などまでおもちゃのような弁当箱の形を楽しむこと、3つ目は沿線の地元の食べ物を手軽に食べられることである。

- ④ (1) ナンシーは、カオルの「出雲弁を話すのね！」という発言に対して「はい、今、日本の'dialect'を勉強しています。」と答えている。出雲弁は日本語の方言の1つなので、'dialect'は「方言」という意味だとわかる。
(2) ②は「最近の若者は以前ほどそれら(方言)を使わない。」という意味。その原因について、カオルはわからないと言っているが、母がその次の発言で答えている。We usually listen to standard Japanese on the radio or TV.を訳すが、設問が「どのようなことを言っていますか」なので、文末を「～こと」にして答える。
(3) ③は「東京では標準語を使うようにするつもりだ。」という意味。直後の文No one will understand Izumoben.と考えたのが理由なので、文末を「～から」にして解答する。No one ~. (だれも～しない、～する人はいない)。要旨：ナンシーが「だんだん」という出雲弁を使ったことから方言の話題になる。留学後、大阪で関西弁を使えるよ

うになって友達が増えた経験から、ナンシーは方言には標準語にはない力があると感じている。最近の若者が方言をあまり使わない理由を母があげ、父は東京では標準語を使おうと考えた少年の話をする。ナンシーは方言は地域の文化を表すと考え、自分の方言に誇りを持つようカオルに言っている。

10 指示語の示す内容を答える問題
88~91ページ

→ 解答

- ① old Japanese language
② ①健二 ②スピーチの聞き手
③ あいさつは、人々の心を開くために、とても役に立つということ。
④ (1)エ (2)a love letter ⑤イ

→ 解説

- ① itは多くの場合、前に出てきた語句や文を指す。このitは直前の美香の発言In Kyogen, actors use old Japanese language. (狂言では、役者は古い日本語を使います。)の中のold Japanese languageを指している。
要旨：日本の伝統文化に興味のあるベンが美香に狂言についてたずねている。美香から狂言では古い日本語が使われると聞いて、自分に理解できるだろうかたずねるベンに、「言葉は難しいかもしれないが、役者がいろいろな身振りをするのでストーリーは理解できる」と原先生が助言している。
② youやhe, sheなどが指す人物を考える問題では、英文の表す場面を正確に把握し、状況からだれを指しているかを判断しよう。
① トムと健二がハンバーガーショップで会話をする場面。トムが使ったOJという言葉の意味をたずねる健二に答えて、トムがWell, you'll see. (ええと、君には[今から]わかるよ。)と言っていることから、youは健二を指すと判断できる。
② この英文がスピーチの原稿であることに着目する。文中

のセリフの中以外のyouは、スピーチを聞いている人を指す。Can you guess what it means? (それが何を意味するかわかりますか。)と、聞き手に質問を投げかけている。
要旨：健二は去年の夏、ニューヨークのブラウン夫妻宅にホームステイし、同い年の息子トムといっしょに音楽を聞いたり、好きな歌手の話をしてきた。そこで学んだことの1つが言葉を短縮することだった。トムがハンバーガーショップでオレンジジュースをOJと短縮したのを聞き、「英語と日本語はまったく異なっているが、言葉を短縮するという点では日本語も同じだ」と健二はトムに言った。(後略)

③ thatは直前の文Greetings are very useful for opening people's minds.を指し、これが母の最初の発言Greetings can be the first step in communication. (あいさつはコミュニケーションの第一歩になりえる。)につながる。
要旨：最初にあいさつをすれば、人との会話がはずむという母に、久美子は学校でのできことを話している。久美子が転校生のミカに声をかけられないと、友達のユリがミカにあいさつをし、ミカが話を始めて、その後3人で会話を楽しんだ。ユリはミカと友達になる機会を作ってくれ、あいさつが人々の心を開くために、とても役に立つということを久美子に教えてくれた。

④ (1)「クラス全員がそれを聞いてとても驚いた。」という文の「それ」は、直前の鈴木先生のセリフIn September we will have a love letter contest in class. All of you will write a love letter in English.を指している。この内容をまとめた工が正解。第2段落の最初にOne day in Julyとあるので、アにひっかからないようにする。
 (2) これは、前に出た語句を指すit。同じ文の前半にある語句a love letterを指している。

要旨：タケルが英語の学習に興味を持つようになったきっかけは、去年の夏の鈴木先生の授業のできことだった。先生は全員に英語で3文からなるラブレターを書くように言い、9月にラブレターのコンテストをすると発表した。相手は人でも物でもよいので(例：自転車や毎日使っているテニスラケット)、夏休み中にラブレターを書いて9月に学校に持ってくるよう言った。(後略)

⑤ ア。「野菜を食べるのが好きな子どもたち」イ。「食事のときに野菜を残す子どもたち」ウ。「野菜を育てるために一所懸命働く人々」エ。「ジェイのように野菜を育てる人々」直前にある真由美の発言の4文目To solve the problem, I think it'll be good for these children to grow vegetables like you. (この問題を解決するためには、これらの子どもたちがあなたのように野菜を育てればよいと思う。)に着目する。下線部のtheyは、文中のthese childrenを指している。さらにこのthese childrenは2文目のchildren who don't eat vegetables and leave them at meals (食事のときに、野菜を食べずに残す子どもたち)を指しているの、正解はイとなる。直前のgrow vegetables like youからエを選ばないように注意する。
要旨：庭でトマトを育てているジェイは、10年前に両親に言われて野菜を育て始める前は野菜が好きではなかったが、育てた野菜を食べてみるとおいしかったので、野菜を残すことがなくなり、料理もするようになった。それを聞いた真由美は日本の野菜嫌いの子どもにも、ジェイのように野菜を育てさせることを思いついた。ジェイは自分で育てた野菜はおいしく、育てるのにどれだけ時間がかかるかわかると言い、真由美は野菜を育てる人々に感謝の気持ちを持つようになると言っている。

語句の内容を答える問題 92~95ページ

- 解答
- ① 自分が現代の漫画本を楽しんでいるように、江戸時代の人々が短い漫画本を楽しんでいたこと。
 - ② (祖母が) 自分たちの家に数日間滞在すること。
 - ③ ウ ④ イ ⑤ イ

→ 解説

① 2文目で、「日本では漫画本の原型は12世紀に作られたということを本から知った。」と述べている。下線部のanother new thing (もう1つ新しいこと) はこれに加えて、もう1つ本から知ったことを指すと考えられるので、直後

の文It said that people in the Edo period enjoyed short comics as I enjoy modern comics.に着目する。下線部が答えとなる。

要旨：書店で買った日本の漫画本の歴史に関する本から、日本では漫画本の原型は12世紀に作られたということを知った。例としてあげた古い絵には、人々のいきいきとした感情が現代の漫画のようにコミカルに描かれている。さらに自分が現代の漫画本を楽しんでいるように、江戸時代の人々が短い漫画本を楽しんでいたことを知ってわくわくした。

② ヨウコが第2段落2文目でI think she can stay at our house for a few days (おばあちゃん[彼女]は何日か私たちの家に泊まることができると思うわ)と言っているのを受けて、母が「彼女にそうするよう頼んでみましょう。」と言っている。

要旨：小学生のヨウコは、大分で野菜を育てながら1人暮らしをしている祖母が寂しいのではないかと考え、何日か自宅に滞在してもらうことを提案した。母が祖母にそうするよう頼んでみると答えた。

③ 第2段落3文目でthe designers got an idea from a bird which can jump into water and catch fish well (設計者は水中に飛び込み魚をとるのが上手な鳥からアイデアを得た)と述べられているが、その直後の文からこの鳥がカワセミだとわかる。また7文目Owls are famous for flying quietly. (フクロウは静かに飛ぶことで有名だ)からフクロウの特性がわかる。これらを組み合わせると正解はウとなる。本文では虫を掘り出したり、暗闇で獲物を見つけたりすることは述べられていない。

要旨：自然界の生き物の知恵が素晴らしいので、科学者は彼らの知恵を日常生活に生かし、生活を向上させている。その例をあげると、最速の500系新幹線の走行時の騒音問題の解決のために、設計者は新幹線の先頭車両にカワセミのくちばしの形を用い、静かに飛ぶフクロウを研究して、騒音の少ないパンタグラフを作った。速く静かに動くことに関して、生き物の形態は時に素晴らしいアイデアを提供してくれる。(後略)

④ 組み合わせになっている語句は、いずれも本文中にあ

るので、迷わないように注意する。
 ア。「安全に働き、料理のしかたを習うこと」イ。「皿洗いをし、レストランの掃除をすること」ウ。「レストランの掃除をし、安全に働くこと」エ。「皿洗いをし、料理のしかたを習うこと」

「もしあなたがそれらの作業をしっかり行えば、答えが見つかるでしょう。」の「それらの作業」は、その2つ前の質問の文Why do you have to do the dishes and clean the restaurant?の下線部を指している。

要旨：級友で70才の山田さんは勉強熱心で、毎日の教室の掃除もしっかり行っている。その理由がわからず、掃除がおもしろいのかたずねると、山田さんは「ただできることをしているだけだ」と答えた。山田さんは先生のようにいるいな話をしてくれた。「料理人になりたいのでレストランで働いているが、料理は習えず、毎日皿洗いと掃除ばかりなので仕事を辞めたい」と相談すると、山田さんは工場での自分の経験を話し、「なぜそれらの作業をしなければならないかは、作業をしっかり行えば答えがわかる」と助言してくれた。料理人になるのにそれらの作業をしなければならない理由はわからなかったが、答えをさがすために仕事を続けた。(後略)

⑤ 「きものを着ると、ア。気分がよくなり、何も考えずに動きまわるようになる。イ。新鮮な気持ちになり、人についていぬいに接するようになる。ウ。気分がよくなり、人と速く歩くようになる。エ。新鮮な気持ちになり、美しい着物を気づかうようになる。」

下線部のtwo good thingsは直後の2文Kimono can make my feelings new. Kimono can also change my actions into better ones when I do things for other people. (着物は気分を新しくしてくれる。着物はまた、ほかの人のために何かをするとき、私の振る舞いを行儀のよいものにしてくれる。)を指す。それぞれの文を別の表現で言いかえたイが正解。change ~ into ... (~を…に変える)。ones=actions。

要旨：ナンシーがお正月に着物を着た写真を久美に見せ、着物について会話をしている。日本では成人式や七五三など特別な日に着物を着ると久美が説明し、着物を着ると大

人の女性になったような気分になるという点で2人の意見が一致する。ナンシーはそりて歩くのは少し難しかったが、日本の大人の女性のように歩こうとしたと言い、着物を着たときのよい点を2つあげた。

要約文・関連文を完成させる問題
96~99ページ

- 解答
- ① A. young B. how C. classes D. changed E. lose
 - ② A. カ B. ア C. イ D. ク E. キ
 - ③ ①same ②useful
 - ④ A. member B. easy C. playing

解説

① 要約文の各英文に該当する文を本文の中でさがそう。
A. 第1段落3文目のToday, few young people in Okinawa can use their traditional language. (今日、沖縄の伝統的な言葉を使える若い人はほとんどいない。) から youngが入る。few ~ (~がほとんどない)。
B. 第2段落1, 2文目 In Hawaii, some students learn how to use their traditional language at school. It's a good way to keep the language alive. (ハワイでは、学校で伝統的な言葉の使い方を習う生徒がいる。言葉を存続させるにはよい方法だ。) を参考にし、howを入れる。how to ~ (~する方法), keep ~ alive (~を生かしておく)。
C. 第2段落3文目 We can start uchina-guch classes in Okinawa, too. (沖縄でもウチナーグチの授業を始められる。) からclassesを入れる。
D・E. 第3段落2文目 A lot of things have changed in Okinawa since then, but we shouldn't lose our traditional language. (そのとき [= 沖縄が返還されたとき] 以来、沖縄では多くのことが変わってきたが、伝統的な言葉を失うべきではない。) から、changed, loseが入る。
要約文の訳：今日、沖縄ではウチナーグチを使える若者は

あまり多くない。それを存続させる方法を考えることは重要だ。ハワイのように学校で伝統的な言葉の授業を始めることができる。沖縄が日本に返還されて以来、多くのことが変わってきたが、私たちの伝統的な言葉を失うべきではない。

② 「ビニール袋を作るのにも燃やすのにも二酸化炭素が大量に発生し、ごみにもなるが、日本人は毎年300枚以上使う」という情報に続けてJudyが別の問題をあげている。A~CはJudyの発言の中から該当する単語をさがす。
A・B. 2文目 In the newspaper I learned that sea animals are losing their lives by eating plastic bags in the sea. (新聞で、海洋動物が海でビニール袋を食べて命を落としていると知った。) から、Aはカが正解。lose their lives をdieと言いかけている。Bはby ~ing (~することによって) をbecauseの節で言いかけていて、Aが正解。
C. 3文目The animals think plastic bags in the sea water are their food. (動物たちは海水中のビニール袋がえさだと思っている。) からイが正解。look like ~ (~のように見える) を用いて言いかけている。
D. 前の文のAre we killing them? (私たちは彼らを殺しているのだろうか。) の答えがYesかNoかを考える。後半でbecause we use plastic bags (私たちがビニール袋を使っているのだから) と述べているので、正解はク。
E. Sakuraの1文目のI think we can take our own shopping bags when we go shopping. (買い物に行くとき、自分の買い物袋を持って行けると思いますが) を実行する決意を表した文。正解はキ。
要約文の訳：世界では奇妙なことが起こっています。たくさんの海洋動物が海で死んでいます。この原因は何でしょう。科学者が注意深く研究し、理由を突き止めました。彼らはビニール袋を食べたせいで死んでいます。ビニール袋は彼らのえさのように見えます。私たちは彼らを殺しているのでしょうか。私たちがビニール袋を使っているのだから、答えはイエスです。ビニール袋は環境にも悪いです。ビニール袋を使わないでください。私は自分の買い物袋を使うことにしました。自分の買い物袋を使ったらどうです

か。
③ サラの1文目のOur postboxes are yellow and postbuses are also yellow. (私たちの郵便ポストは黄色で、ポストバスも黄色です。) から両者は同じ色だとわかり、①にはsame (同じ) が入る。サラの3回の発言から、「ポストバスは人も手紙も運ぶ。」「ポストバスは山の中にも行くので、それに乗れば簡単に山の中の村にも行ける。」「外国人も乗ることができる。」などの便利な点があり、②にはuseful (便利な) が入る。
要約文の訳：サラの国ではたくさんの人がポストバスを利用する。ポストバスと郵便ポストは同じ色である。ポストバスは多くの人々にとって国中を移動するのに便利である。
④ A. 第1段落2文目He was in the soccer team in his school. (彼は学校のサッカーチームに入っている。) を別の表現で表す。「サッカーチームの一員である」とすればよいので、memberが入る。
B. 第2段落2文目It is difficult for us to win the game. (僕たちが試合に勝つのは難しい。) が関連文。これを要約文「Hideoはチームが試合に勝つのは B だと思わなかった。」と比べる。Bにはdifficultの反対語easy (簡単な) を入れると矛盾のない文になる。
C. 第5段落2, 3文目All the team members communicated well with each other. They all had a good time. (チームのすべてのメンバーがお互いによくコミュニケーションを取った。彼らはみんな楽しかった。) から、メンバーが試合をすることを楽しんだことがわかるので、空欄にはplayingが入る。enjoyは目的語に動名詞のみをとる動詞なのでto playは間違い。
要約文の訳：Daisukeは学校のサッカーチームの一員だった。彼のチームは一度も試合に勝つことがなかった。最初、キャプテンのHideoはチームが試合に勝つことは簡単ではないと思っていた。しかし、DaisukeとHideoはワールドカップの試合を見て、すべき大切なことを学んだ。Hideoはチームメート全員にそれを伝えた。最後の試合のあと、お互いによくコミュニケーションを取り、試合を楽しんだので、彼らは全員とても幸せだった。

グラフを使った問題1
100~103ページ

- 解答
- ① (1) want to study abroad (2) ウ
 - ② A. library B. number C. July D. kind [kinds] E. culture
 - ③ ウ ④ (1) ウ (2) イ
 - ⑤ (1) 学校をきれいにする [学校のそうじをする] (2) ウ

解説

① 英文からグラフを完成させる問題。
(1) グラフのタイトルから、who以下の内容に該当する高校生の割合を比べたグラフだとわかる。ジフの2文目の発言3文目のIn Korea, many high school students want to study abroad in the future, and the percentage of those students is much higher than in America. (韓国では多くの高校生が将来留学したいと考えていて、それらの生徒の割合はアメリカにおいてよりずっと高い。) から、タイトルは「留学を希望する高校生」だとわかるので、下線部が正解となる。拓の2文目の発言2文目のToday in Japan, such high school students aren't so many. (現在、日本では、そのような高校生はそれほど多くない。) もグラフと一致する。
(2) 英文は「韓国の高校生のあいだでは、言語の学習が最も人気がある。科学技術 (technology) の研究は文化の研究ほどの人気はない。」という意味。英文から「言語 > 文化 > 科学技術」の順だとわかるので、正解はウ。not as ~ as ... (...ほど~ない)。
要旨：拓もジフもアメリカで科学技術を学びたいという夢を持っている。ジフは、韓国の高校生が留学を希望する割合がアメリカより大きいことを紹介し、日本では多くないという拓に理由をたずねている。ジフはアメリカに留学すれば英語と、自国と異なる文化も学べると言い、拓は外国で新しい友達ができることをあげ、日本の若者にもっと外国に行き、新しいものの見かたを身につけてほしいと言っ

ている。

② 完成しているグラフから情報を読み取る問題。

A. グラフのタイトル「本校図書館の貸出状況」から、library (図書館) が入る。

B. グラフ1のタイトル「月ごとの貸し出し冊数」から、the number of books (本の数) が正解となる。

C. 「ちょうど夏休み前なので、最も多くの本を借りている。」という英文の内容とグラフ1から、7月 (July) のことを述べているとわかる。

D. グラフ2のタイトル「分野ごとの貸し出し冊数」から what kind[s] of books (どんな種類の本) が正解となる。

E. 生徒がどんな種類の本を読んでいるかに関して、「小説が一番多く、() に関する本がその次に来た。」という英文の内容とグラフ2から、「文化」が入るとわかる。文化は英語でculture。

③ 英文に合ったグラフを選ぶ問題。体内時計があるかという質問に、体内時計は私たちの生活の中でとても重要と答え、「安眠に関するおもしろいアイデア」を紹介している。その具体的な内容を示す文は、あとの科学者のセリフの3文目I believe ~から6文目のgoes up.まで。「2回睡眠をとるべきで、夜8時に就寝し、4時間眠って、目覚めたあと2時間のあいだベッドでじっとしている。その後再び眠って、日の出とともに起床する。」という内容に合う図はウ。

④ 完成しているグラフから情報を読み取る問題。グラフは「週に何回朝食を食べますか。そして朝、何時に起床しますか。」という質問に対する統計。「毎日食べる」子どもと「4~5回抜く」子どもが棒グラフで表されている。

(1) 英文の指示は「週に4~5回朝食を抜く子どもを見なさい。」なので、下のグラフを見る。「彼らのうち()%が6時30分より前に起床している。」という英文の内容とグラフから、()には6.3 (6時より前) +18.8 (6時1分~6時30分) =25.1という数字が入る。「6時より前」の数字も足すことを忘れないようにする。

(2) 第2段落のAs for me, I get up at 6:20 and eat breakfast at 7:10 every day. (自分に関して言えば、6時20分に起床し、毎日7時10分に朝食を食べる。) でAkiraの毎日の生活習慣を説明している。この内容から、

Akiraは上のグラフのイの区分にあてはまることわかる。

⑤ 英文からグラフを完成させながら、情報を読み取る問題。

(1) (A) に該当するのは、第4段落1文目の15.2% of the students think that we should clean our school (生徒の15.2%が学校をきれいにすべき[学校をそうじすべき] だと考えている。) という英文。この内容から、グラフのほかの文に合わせて「学校をきれいにする[学校をそうじする]」という文を入れる。

(2) ア。「Maryは生徒に『あいさつ週間計画』についての質問に答えるように頼んだ。」第1段落1, 2文目から、Maryは「学校をよりよくするためには何をすべきか」という質問をしたことがわかるので合わない。イ。「10%以上の生徒が友達に親切にすべきだと考えている。」グラフを見ると、そのように考えている生徒は9.9%なので合わない。ウ。「16人の生徒がボランティア活動に取り組むことが学校をよくすると考えている。」内容も数字もグラフと一致するので、これが正解となる。エ。「14%の生徒が学校にもっと花が必要だと考えている。」グラフを見ると、14はそのように考えている生徒の数で、割合は3.1%なので合わない。

要旨: Maryは「よりよい学校にするために取り組むべきこと」というアンケートの結果から、約半数の生徒があいさつすべきだと考えていることを知り、毎月第1週を、生徒同士や先生、周囲の住民へのあいさつを奨励する「あいさつ週間」にすることを提案している。2番目の「学校行事を増やす」に関しては、今行っている行事をもっと充実させることとし、3番目の「学校をきれいにする」という考えを評価して「学校清掃計画」を提案し、これら2つの計画を実行したいと言っている。

13 グラフを使った問題2 104~107ページ

→ 解答

① (1)イ (2)eight (3)He read many kinds of books to her class. (4)ウ

② (1)A. stayed B. spoken (2)very glad to

get the chance to study (3)②エ ④イ

(4)C. rain D. of (5)エ

→ 解説

① 英文からグラフを完成させながら、情報を読み取る問題。

(1) Mamiの1番目の発言「小学生は中学生や高校生よりたくさん本を読んでいます。」とKentaの1番目の発言「高校生は中学生ほど多くの本は読んでいません。」から、アは小学生、ウは高校生で、中学生を表すのは中間のイだとわかる。

(2) Yuyaの発言から、(A)には2008年に小学生が読んだ冊数が入る。(1)の問題から小学生を表すのはグラフの中のアなので、eight (8冊) が正解。「英語のつづりで書きなさい。」という指示を見落とさないこと。

(3) 質問は「小学校で、Mamiの先生は何をしましたか」。答えにはMamiの4番目の発言の2文目In my elementary school, my teacher read many kinds of books to my class. (私の小学校では、先生がクラスの生徒たちにたくさん種類の本を読んでくれました。) が関連する。また、その次の文頭のThanks to him, (彼のおかげで) から、先生は男性だとわかる。下線の文を質問の文に合った人称代名詞を使って9語以上で書き直すとHe read many kinds of books to her class.となる。myをherにすることを忘れないようにする。動詞readは過去形。

(4) ウのように量の多い長文から関連する英文を複数見つけなくてはならない問題もあるので、最初に設問に目を通しておいて、該当する英文に下線を引きながら読むのがコツ。ア。「中学生は2005年には、2011年にくらべて、はるかに多くの本を読んだ。」much more ~ (はるかに多くの~)。グラフのイを見ると、2005年は約2冊、2011年は約3冊で、2005年の方が少ないので合わない。イ。「小学生は高校生と同じ数の本を読んだ。」グラフのアとウをくらべると、ア (小学生) の方がはるかに多いので合わない。ウ。「Kentaはとても忙しかったが、先月グループの中で最も多くの本を読んだ。」Kentaは3番目の発言の2文目で「僕は先月、とても忙しかっただけれど本を5冊読みました。」と言っている。一方、Mamiは3番目の発言の1文

目で「先月は2冊しか読みませんでした。」と言い、Yuyaは3番目の発言の3文目で「先月は1冊も読みませんでした。」と言っていることから、Kentaが最も多くの本を読んだことがわかる。エ。「Yuyaは高校生だけが以前よりはるかに多くの本を読んでいるということがわかった。」Yuyaは4番目の発言でOnly elementary school students read much more books than before.と言っている。下線部がhigh schoolとなっているエは間違い。

要旨: Yuya, Mami, Kentaは、小学生が中学生や高校生よりはるかに多くの本を読んでいることをグラフから知り、その理由を話し合っている。Mamiが「中学生はクラブ活動や勉強で本を読む時間がない」と言うと、Yuyaも同意したが、Kentaは「忙しくても読書の時間は見つけれられる。小学校のときから授業の前に読書をしている」と言った。Yuyaが「おもしろい本を見つけるのが難しい」と言うと、KentaとMamiが学校の図書館、インターネット、書店でさがすことを提案した。

② 完成しているグラフから情報を読み取る問題。

(1) A. あとにin Tokyo (東京に) があるので、stayを選び、直後のstudiedの時制に合わせて過去形stayedにする。「私は日本で新生活を始めるために、東京に滞在して日本語と日本文化を学びました。」となる。

B. 主語がEnglishなのでspeakを選び、過去分詞spokenにする。「英語はほかの多くの国で話されています。」となる。

(2) まず「[私は]とてもうれしいです」を並べる。→[I am] very glad. 「[あなたがた]勉強する機会」は形容詞的用法の不定詞を使ってthe chance to study [with you]と表す。これを原因を表す不定詞to getの目的語にして、gladのあとにおけば文が完成する。

(3) アは名古屋のグラフ (第3段落から) なので除外し、その他の3都市の情報を整理して判断する。南半球なので6~8月が冬だということに注意する (第4段落から)。

② Maria (プリズベン) 第5段落: 冬が4都市中で一番暖かい。冬より夏の降水量が多い。2月の降水量が年間最大。→これに該当するのはエ. Graph 4. ③ Jeff (ウェリントン) 第6段落: 6月と7月に降水量が多い。Daniel

の都市より年間降水量が多い。→Graph 2とGraph 3のうち、年間降水量の多いウ。Graph 3が該当する。④ Daniel (ケープタウン) 第7段落: 残ったイ。Graph 2が該当する。

(4) 質問は「6月に関して、グラフは何を示していますか。」。答えは「6月には、名古屋の **C** の量が4つの都市 **D** 最大です。」という意味。Graph 1を見ると6月の降水量がほかの都市とくらべて最も多いので、Cにはrainが入る。Dには最上級のあとの「~の中で」という語が入ると考える。正解はof。

(5) ア。「Danielは3回日本に来たことがあり、日本語を上手に話す。」第1段落3文目「今回が初めての日本訪問です。」に合わない。イ。「名古屋の夏はとても暑いが、Danielの都市の夏ほどは暑くない。」第2段落1~3文目「とにかく名古屋はとても暑く、今まで経験した中で一番暑い夏だ。僕の都市の夏はこれほど暑くありません。」に合わない。ウ。「Danielは英語を話すが、MariaとJeffはまったく英語を話さない。」第7段落4文目「MariaとJeffと僕は違う国の出身で違う文化を持っていますが、僕たちはみんな英語を話します。」に合わない。エ。「Danielは世界中の人々と英語で話すのは楽しいと思っている。」第8段落3, 4文目「世界中の多くの人々と英語で話すことができます。それはとても楽しいことだと思います。」に一致する。It is [a lot of] fun.は「それは[とても]楽しい。」という意味。

要旨: Maria, Jeffとともに名古屋で暑い夏を経験している留学生のDanielが、3人の出身都市と名古屋の気候のグラフを見せながら、各都市の特徴を説明している。(グラフの説明は解説文を参照。) 3人は違う国の出身だが全員英語を話す。Danielは南アフリカでも英語が使われていることを知っていたかたずねている。英語は世界中で使われているコミュニケーションの道具なので、英語を勉強して世界の人々との会話を楽しんでほしいと語る。

表を使った問題 1

108~111ページ

解答

- ① ア ② ウ ③ イ
④ A. morning B. Where are they C. right D. more
⑤ (1) Soccer is more popular than tennis (in Akio's class.) (2) Tennis is the most popular (sport in Rika's class.)

解説

① 完成している表から情報を読み取る問題。Yukiがレンタル店でクーポンを利用し、最も安い価格でCD 2枚を2日間、DVD 3枚を1週間借りようとしている。クーポンを見せれば、DVD 3枚を1週間1000円で借りられる。質問は「Yukiはレンタル店でいくら支払いますか。」なので表を見て計算する。CD (¥200×2)+DVD (クーポン対象で¥1,000)=¥1,400となる。

② 完成している表から情報を読み取る問題。Kateは朝日駅に9時に着き、上田駅行きのバスに乗って、12時前に上田駅に着いた。12時30分にそこでAkikoに会った。質問は「Kateはどのバスに乗りましたか。」なので、時刻表と照らし合わせる。9時以降出発のBus No. 3とBus No. 4のうち、上田駅に12時前に着くのはウ。Bus No. 3。

③ 完成している表から情報を読み取る問題。Bobが1番目の発言で、School Aの特徴として「ほかの国から来ている学生が多く、**A**がある。」と説明している。直後の文で「フェスティバルでいろいろな食べ物や音楽が楽しめる。」と説明しているので、Aにはa science festivalではなく、an international festivalが入ると考える。BにはBobが「一番よい選択」と勧める学校が入る。Emiの3, 4番目の発言から、Emiはサッカーがしたい、都市部の方が好きで、週末に図書館で本が読みたいことがわかり、それに合う学校は、表のSports teams (スポーツのチーム)とArea Information (地域に関する情報) からSchool Aとなる。よって正解はイ。

④ 完成している表から情報を読み取る問題。約3か月前に生まれたホワイトタイガーの赤ちゃんを見たいというEricに、Hidekiがパンフレットを見ながら情報を伝えている。

A. パンフレットのHoursの欄から、ホワイトタイガーの赤ちゃんは9時から11時に見られることがわかる。英文はその時間帯を伝えているのでonly two hours in the morning (午前中の2時間のみ) とするのが正解。

B. 疑問文が入るが、Ericの質問にHidekiがLet's look at the map. (地図を見よう。) と答えているので、Where are they? (どこにいますか。) とたずねていると判断できる。C. 2人は入り口の前にいるので、Mapの中のGateを出発点にして、Hidekiの言う道順 (Green Streetを歩いて、2つ目の角で右に曲がり、それから最初の角を左に曲がる。) を、線を引きながらたどればよい。着いた地点から見てホワイトタイガーは右側にいるのでCにはrightが入る。

D. 中学生は学生 (12才~18才) なので料金は200円だと思ったEricに、Hidekiは100円と答えている。これは20人以上の団体料金なので、Dにはmoreが入る。more than ~は「~以上」という意味。

⑤ 英文から表を完成し、そこから情報を読み取る問題。まず、英文から(A) (B) (C) (D)の数字を割り出し、表に書き込もう。(B)は「里香のクラスでサッカーが好きな生徒の数と同じ」なので、9が入る。合計から引き算をして(A)は13となる。(C)は「明男のクラスで野球が好きな生徒の数と同じ」なので、7が入り、(D)には14が入る。

(1) サッカーが13人、テニスが9人なので、popularを含むという指示にしたがって「サッカーがテニスより人気がある。」という比較級の文を作る。

→Soccer is more popular than tennis (6語)

(2) テニスが14人で一番多いので「テニスが一番人気のある(スポーツだ)」という最上級の文を作る。→Tennis is the most popular (sport) (5語)

表を使った問題 2

112~115ページ

解答

① (1)外国で勉強や仕事をしたいと思っている日本の若者(の数)が少なくなっていること。(2)外国の文化や歴史を知りたい。(3)英語と日本語[国語]をもっと勉強すること。/日本について書かれたたくさんの本を読むこと。(4)イ

② (1)サクラの木の下でパーティーをする計画を立てるとき。(2)美しいサクラの短い命を、自分自身の命のように見ること。(3)W. 酒田(市) X. 山形(市) Y. 米沢(市) Z. 新庄(市) (4)イ、オ

解説

① 英文から表を完成し、そこから情報を読み取る問題。

(1) 第1段落2文目 the number of Japanese young people who want to study or work in foreign countries is becoming smallerを指すので、これを訳し文末を「~こと」にする。who ~ countriesがJapanese young peopleを修飾し、そのあとに動詞is becomingがくる主語の長い文なので、気をつけて訳す。下線部①を含む文は、「(~が少なくなっているようですが、)それは本当だと思いますか。」という意味。

(2) 第2段落の最後の文Half of them wanted to know the culture or history of foreign countries.のhalf of them (彼らのうちの半分)は「50%」なので、この文が該当する文だとわかる。下線部を表のほかの文の表現に合わせて訳す。

(3) けん君は第3段落で、外国人のための日本語教師になる夢を紹介している。それをかなえるためにこれからすることは、So, (それで)のあとの文I'm going to study both English and Japanese harder.と、Also, (また)のあとの文I'm going to read a lot of books written about Japan.で述べているので、下線部を訳して文末を「~こと」にする。both A and B (AとB両方とも)。written 以下は「~書かれた」という意味で前のbooksを

修飾している。

(4) ア。「けん君の学校のすべての生徒が留学に関する2つの質問に答えた。」表になっている質問は全校生徒対象ではないことがグラフからわかる。すべての生徒を対象にした質問は1つなので、状況に合わない。イ。「けん君の学校の半数以上の生徒は留学に興味を持っている。」55%の生徒が興味を持っている(第2段落3文目やグラフから)ので、本文と一致する。ウ。「けん君の学校の生徒全体の38.1%が外国で新しいことに挑戦したいと思っている。」数字は合っているが、生徒全体に対する割合ではなく、留学に興味を持っている生徒110人に対する割合なので、状況に合わない。エ。「けん君は将来、日本に住んでいる外国人に日本語を教えたいと思っている。」第3段落3、4文目There are many people who want to know about Japan in other countries. I'd like to go there and teach them Japanese language and culture. (外国には日本について知りたいと思っている人がたくさんいる。僕はそこ[外国]へ行って、日本語や日本文化を教えたい。)の下線部に合わない。

要旨：けん君は留学を希望する日本人の若者の数が減っていると聞いて、学校の生徒全員に「留学に興味がありますか」というアンケートを取った。結果として半数以上が興味があることがわかり、さらにその生徒たちに留学したらやってみたいことをたずねた。けん君の学校では留学希望者の数は少なくなく、彼自身も希望している。

将来の夢は外国人のための日本語教師になることで、そのために英語、国語を勉強し、日本についての本をたくさん読もうと考えている。

② 英文から表を完成し、そこから情報を読み取る問題。

(1) 香の1番目の発言の2文目 it's useful when we make a plan for a party under sakura trees (サクラの木の下でパーティーをする計画を立てるとき、それは役に立ちます)の下線部が答えになる。「どのようときか」という設問なので文末を「～するとき」にする。

(2) ②の文は「日本人はなぜサクラを特別な花として見ているのですか。」という質問。それに香が2番目の発言で答えている。I think we often see the short lives of

beautiful sakura as our own lives. (私たちはしばしば美しいサクラの短い命を、自分自身の命として見ていると思います。)

(3) 香とスニサの最後の発言の中の情報を整理する。Sakura began to bloom in Sakata first and in Shinjo eight days later. (サクラは酒田市で最初に咲き始め、新庄市で8日後に咲き始めました。)→Wが酒田市(4月20日)、Zが新庄市(4月28日)。But when sakura began to bloom in Yonezawa, they were already in full bloom in Yamagata on the same day. (しかし、米沢市でサクラが咲き始めたとき、同じ日に山形市ではすでに満開でした。)4月26日が共通の日で、その日に咲き始めたYが米沢市、満開のXが山形市だと判断できる。

(4) ア、イは英文から、ウ～オは図と表から正誤を判断する。ア。「スニサは以前サクラに関する地図を見たことがあり、役に立つと思うと言っている。」スニサは1番目の発言の2文目で「サクラに関する奇妙な地図を見つけました。」と言っているが、見たことがある物に対してはそのようには言わないので、本文に合わない。イ。「まだ1月なので、香は2013年のサクラに関して何も情報を得ていない。」香の3番目の発言の2文目、「まだ1月なので、今年のサクラに関しては何もわかりません。」と一致する。ウ。「予想では、札幌市では仙台市よりも1週間遅くサクラが咲き始めることになっていた。」開花予想図を見ると、仙台市は4月20日、札幌市は5月10日で20日遅く、日数が合わない。エ。「山形県のほとんどの場所で、サクラは2012年の予想より早く咲き始めた。」一番早い酒田市でも予想日当日で、ほかの場所はそれ以降なので、内容が合わない。オ。「2012年は、5月になっても山形県内で満開のサクラを見ることができた。」新庄市では5月1日に満開になっているので、一致する。

イラストを使った問題1 116~119ページ

解答

① イ

- ② (1) three (2) この町の歴史について英語で書かれた本を見つけることができるかどうかということ。(3) ウ→エ→ア→イ
- ③ ア ④ ①C ②B ③A
- ⑤ ウ

解説

① 英文に合ったイラストを選ぶ問題。英文は「中華まんじゅうをより魅力的にするために、キャラクターを作りました。顔は目が2つ、口が1つ付いたホタテ貝です。両手をあげて、頭にぼうしをかぶっています。」という意味。これらの条件をすべて満たすのはイのキャラクター。アはぼうしをかぶっていない。

② 完成しているイラストを見ながら答える問題
(1) 「この博物館には□の展示室と図書館があります。」という文。展示室の数は1階の「特別展示室」、2階の「大展示室」と「小展示室」の3つ。英語で書く。

(2) ②の英文は、ロバートの2番目の発言のBy the way, can I find some English books about the history of this town in the library? (ところで図書館で、この町の歴史について英語で書かれた本を見つけることができますか。)という質問に対する答え。②の中のthatはこの疑問文の内容を指す。設問の「何を」に対する答えなので、文末は「～かどうかということ」という表現にする。

(3) 美佐子の3番目の発言「2階から先に見て、1階に移動しましょうか。それなら、展示室をすべて見たあとに図書館に行けます。古い町の小模型は2階の大展示室にあります。」と、ロバートの4番目の発言「それ(=小模型)を最初に見たいです。」から、2階はウ→エの順、そのあと1階に下りてア→イの順だとわかる。

③ 路線図を見ながら答える問題。英文は「あなたはHeiwa駅にいます。Wakaba駅に行くためには、Nishi線でSanoまで行き、そこで乗り換えます。Fuji方面のMidori線に乗り、3つ目の駅で降りてください。」という内容で、「Wakaba駅はどれですか。」という質問に答える。英文にしたがうと、正解はア。Aとなる。change trains(乗り換える)。

④ それぞれの地図を説明している文を本文中からさがす。下線の語句の直後にあるとは限らないので、注意深く本文を読もう。

① 第1段落3文目「私たちはよくこの地図を目にし、日本で使っています。」からCだとわかる。そのあとの文では日本が中心にあり、アメリカは東側にあるとも述べている。

② 第2段落6文目「イギリスが中心にあり、日本は地図の端(はし)にあります。」からBだとわかる。

③ 第3段落3、4文目「この地図は中心に国がないのでとてもおもしろいです。中心には日本海があります。」からAだとわかる。

要旨：地図にはいろいろな種類があり、父がイギリスで買った地図を見ると、アジアなどが「極東」と呼ばれる意味がわかる。富山が1994年に作った地図からは、韓国、ロシア、中国が富山から近いことと、それらの国の重要性がわかる。違う視点でものごとくを見なければ、新しいものは見つけれないと思う。

⑤ 会話の中から、イスの数と配置のしかたについて述べている文をさがす。途中でいったん話題が変わるので、該当する文に下線を引きながら、最後まで注意深く読もう。マリが3番目の発言で、14脚あるイスに対して、「あと7脚必要だ」と言っているので、計21脚を並べるとわかる。マリは5番目の発言で「カタカナの「コ」の形に並べる」、最後から2つ目の発言で「それぞれの側に7脚並べる」と言っている。最後にジャックに指摘されて、開口部に1つゲスト用のイスを置くことになる。これらからウが正解だとわかる。

要旨：マリが会合用のイスを並べるのをジャックが手伝っている。日本語で「コの字」は英語では「U」の形と呼ぶとジャックが言っている。マリは、ゲストの有名なベストセラー作家やマトアスカさんの話をいっしょに聞こうとジャックを誘い、3時15分からなので、3時に来るとジャックは約束する。マリはゲストのためのイスをもう1つ持ってきてくれるようジャックに頼んだ。

解答

- ① (1)イ (2)イ (3)美紀と彼女の姉[妹]がしばしば歩くのをやめて、木や花の写真をたくさん撮ったから。(4)エ (5)①Yes, they do.
②Three people will.
③ (1)book store : エ bike shop : ウ movie theater : イ (2)ウ (3)Because her bike broke (in front of the city library). (4)ウ

解説

① イラストの中のコまかい情報を読み取りながら、いろいろな形式の問題に答える問題。最初にイラストの中の記述にさっと目を通そう。

(1)「私たちは午前9時にみどり公園を出発しました。」とすると自然で、スタンプカードの内容にも合うので、イを選ぶ。leftはleave(出発する)の過去形。

(2) 英文の内容とスタンプカードの情報を照らし合わせながら、空欄に入る語句を考える。B 山の形のスタンプが押されていないチェックポイントは、「第4チェックポイント[ひがし駅]」なのでfourthが入る。C イラストの中の「第3チェックポイントへの到着が午後2時以降になった場合は、ロープウエーで下りてください。」という注意書きから、twoが入る。「第3チェックポイント」は英文ではMt. Tatsunoとなっている。この時点で正解はイとわかる。D 「チェックポイント間距離」を見ると、みどり公園から13キロの地点は第3チェックポイントのMt. Tatsunoだとわかる。

(3) So, (それで)の前の文my sister and I often stopped walking and took many pictures of trees and flowers が遅れた理由になる。理由なので、文末を「～から」にして客観的に説明する。

(4) ア。「山について何を知っていますか。」イ。「山にのぼるためにどこへ行きましたか。」ウ。「いつ私たちと一緒に来ますか。」エ。「私たちと一緒に来ませんか。」美

紀は「次の日曜日に姉[妹]といっしょにたつの山にのぼり、ひがし駅に下りる」と言っている。美紀の発言に対して、ベンが「いいですよ。いっしょに行きたいです。」と答えているので、Eには「いっしょに行こう」と誘う文が入ると判断できる。

(5) ①「ベンと健二は山のぼりが好きですか。」に答える。美紀が最初の発言で「山のぼりが好きか」と質問しているのに対して、ベンがYes.と答え、健二も「自分も山のぼりが好きだ」と言っていることから、主語をtheyにしてYesと答える。

② 「来週の日曜日に、何人の人が美紀といっしょにたつの山にのぼりますか。」に答える。(4) から、姉[妹]と美紀の山のぼりにベンが参加することがわかる。また、美紀が最後の発言で「健二、あなたも来れる?」とたずねているのに対し、OK.と答えていることから、健二も参加することがわかる。計4人だが、質問は美紀といっしょにのぼる人数をたずねているので、美紀は人数に入れないように注意する。疑問詞が主語の疑問文なので、Three peopleを主語にして答え、willよりあと省略する。

③ 1つのできことをいろいろな視点で描写していて、地図も含まれているので、かなり複雑な問題。情報をよく整理しながら長文を読み、設問に取り組もう。

(1) 4人の話からそれぞれの場所を地図上でさがす。3つの場所に関する情報をReportからひろってメモを作るとよい。

Report 1: 「coffee shopを出てmovie theaterに向かっていると、エミリーともう1人の少女がmovie theaterから出てきて、flower shopで花を眺めた。」→コーヒーショップと花屋の近くにあるイが映画館(movie theater)。

Report 2: 「hospitalの前で、エミリーがbike shopから走り出て、隣のsupermarketに入るのを見た。」→病院は2つあるが、前に立ってスーパーマーケットが見えるのは、西側にある病院。スーパーマーケットの隣のウが自転車店(bike shop)。

Report 4: 「parkにいたとき、エミリーが2つのhotelの間のbook storeに入って行った。」公園の前の2つのホテルの間のエが書店(book store)。

(2) [ア.新しい自転車 イ.新しい本 ウ.チョコレート エ.ピザ]を買うこと。エミリーは、待ち合わせをしていたジェーンに、遅れたおわびをしようとしていると想像する。

Aを含む文の前にI remembered Jane liked sweet things very much (ジェーンは甘いものが大好きだということ思い出した)があることから、「チョコレートを買うのがよいアイデアだと思った。」とするのが自然。

(3) 質問は「エミリーはなぜ自転車を自転車店まで押して行く必要があったのですか」。Emily's storyの6文目Unfortunately, my old bike broke in front of the city library and I had to push it to the bike shop. (不運にも、私の古い自転車が市立図書館の前でこわれたので、自転車店までそれを押して行かなければならなかった。)の下線部を疑問文に合った形にして答える。また、in front of以下を省略してよい。

(4) ア。「エミリーは家から自転車に乗って書店まで行った。」Emily's storyの7文目にI left my bike there, left the shop, (自転車をそこに残して自転車店を出た)とあり、その後、スーパーマーケットに寄ったあと書店に行っているのが不一致。イ。「ジェーンが書店にいなかったためエミリーは腹を立てた。」Emily's storyの10文目「書店でジェーンに会ったとき、彼女は私に腹を立てていた。」に不一致。ウ。「エミリーとジェーンは午前9時20分に始まる映画を見た。」Emily's storyの3, 4文目「もう午前8時50分だった。映画が始まるまでに30分しかなかったので、自転車で家を出た。」に一致する。エ。「エミリーとジェーンは映画を見たあと、コーヒーショップに行った。」Report 1の3, 4文目に「花屋で花を眺め、すぐに店をあとにして南に向かった」という記述はあるが、コーヒーショップに行ったという記述はない。

要旨: ジェーンと映画を見るために9時に書店で待ち合わせをしていたエミリーは、寝坊をしたため遅刻しそうになり、自転車でかけたが、途中で自転車が壊れた。自転車を自転車店にあずけ、スーパーマーケットでおわびのチョコレートを買い、映画の5分前に、怒っているジェーンに渡して謝った。その後2人は映画を楽しんだ。

解答

- ① (1)ア (2)ウ (3)イ (4)wants
(5)①No, isn't ②is, kind (6)イ, エ
② (1)4→2→6→5→1→3 (2)エ (3)ウ
(4)2→1→4→5→3 (5)最初: about 最後: years (6)イ (7)X. newest Y. came Z. oldest

解説

会話文を読む前に設問にさっと目を通しておき、該当部分に下線を引ながら会話文を読もう。

① (1) A. 恵美が、空欄を含む質問に対して「市の幼稚園で3日間働くつもりだ」と場所を答えていることから、whereが入る。「来月の職業体験はどこへ行くか決めましたか。」という文になる。where to ~ (どこで~すべきか)。B. 空欄以下は、「好奇心を持つことがどれほど大切か」という意味にすれば自然。learnの目的語なので、平叙文の語順になっている。It is ~ to ...は「...することは~だ。」という意味。

C. 恵美は前の文でグリーン先生があげたような難しい質問に答える自信がないと言っているため、「もし幼稚園で子どもたちがこれらの質問をしてきたら、どうしたらいいでしょうか(=何をしたらいいでしょうか)。」という文にすれば自然。doの目的語としてwhatが入る。したがってアが正解となる。

(2) ア。「~しなければならない」イ。「~すべきだ」ウ。「~する必要はない」エ。「~しなかった」

グリーン先生の5番目の発言とそれに同意した健太の発言に合うものを選ぶ。グリーン先生は「同じように興味があるということ子どもたちに知らせる方が大切だ」と言い、健太は「質問の答えより父と星を見た経験の方を覚えてい」と言っている。この内容から、「あなたはすべての質問に答える必要はありません。」とするのが自然なので、ウが正解。

(3) ア.「星を見るために」 イ.「子どもたちを幸せにするために」 ウ.「あなたにアドバイスをするとき」 エ.「あなたが科学を勉強するとき」

前の文で恵美が「グリーン先生、よいアドバイスをくださりありがとうございます。」と言っていることから、グリーン先生の5番目の発言の最後の文Even if you can't give them all the right answers, you can make them happy. (たとえすべて正しく答えられなくても、彼らを幸せにできます。)を受けた内容の語句が入る。「幼稚園で子どもたちを幸せにするようベストをつくします。」という文になる。

(4) 生徒:「彼は強い好奇心を持っています。」これはどういう意味ですか。

先生:自分が知らないことについて、彼が本当に学びたい、知りたいと思っているという意味です。

グリーン先生の4番目の発言最後の文のthey really want to know more about things ~を参考にする。主語がheなので3人称単数現在のsをつけるのを忘れないように。

(5) ①質問は「恵美にとって将来何になるかを決めるのは簡単ですか」。恵美が2番目の発言1文目で、グリーン先生の「将来幼稚園の先生になりたいですか。」という質問にthat's a hard question to answer (答えるのが難しい質問です)と答えていることから、質問にはNoで答える。

②質問は「健太はなぜ恵美がたくさんの子どものように好かれるだろうと思うのですか」。健太の1番目の発言1文目のEmi, you're always kind to everyone, so you'll be liked by many children. (恵美、君はいつもみんなに親切なので、たくさんの子どものように好かれるよ。)の下線部を、sheを主語にした文に書き換える。

(6) ア.「恵美は子どもたちとうまく話せないで、幼稚園には行きたくないと思っている。」恵美は行きたくないとは言っていない。2番目の発言の最後の文から、自信がないだけということがわかる。イ.「恵美の母は、幼稚園で職業体験をすることが恵美にとってよいことだと思っている。」恵美の3番目の発言の3文目「母はまた、幼稚園で職業体験をしたら、ほかにたくさん大切なことが学べると言います。」に一致する。ウ.「グリーン先生は恵美

の職業体験は彼女に何も大切なことは教えてくれないと言っている。」イの下線の文に、グリーン先生はI agree with her. (彼女に賛成です。)と言っているので不一致。エ.「グリーン先生のアドバイスは、職業体験について考えるとき、恵美にとって役立つものである。」恵美の最後の発言の2文目に一致する。オ.「健太は家の近くの山に父と行ったことがない。」父と山にのぼって星を見た体験を話している健太の最後の発言に合わない。カ.「健太は父が理科の教師なので、科学者になりたいと思っている。」健太は、最後の発言の最後の文で「それで今は理科を勉強するのが好きです。」と言っているが、科学者になりたいとは言っていない。父の職業に関しても記述はない。

要旨: 職業体験として幼稚園で働こうとしている恵美が、よい先生になる自信がないと言うと、健太が「恵美はだれにでも親切なので子どもに好かれる、職業体験でいろいろ学べる」と励ます。母も同じことを言って励ましてくれたことを伝えると、グリーン先生はそれに同意し、さらに好奇心を持つことの大切さを恵美に話した。そして小さい子どもが好奇心から発する質問にはすべて答えられなくても、同じように興味を持ち、行動することで子どもたちを幸せにできるとアドバイスした。健太も父との体験を話して励まし、恵美は2人の激励とアドバイスに感謝した。

② 計算問題や表を使った設問、複数の文を並べかえる設問などいろいろな種類の設問が総合的に組み込まれている難易度の高い問題。情報をよく整理して、日本語でメモを作りながら読むとよい。

(1) 健がYes. It's 333 meters tall. (はい。それは333メートルです。)と答えていることから、「その塔はどのくらいの高さか知っていますか。」という英文になることがわかる。Do you know ~?の~の部分にhow tall the tower isという間接疑問文を入れる。how tall is the towerとしないよう注意する。

(2) 下線部②は「もし新しい塔があと32メートル高かったら、それは東京タワーのちょうど2倍になります。」という文。トムは2番目の発言1文目から、東京スカイツリーは634メートルなので、エの式が成り立つことがわかる。

(3) 健: 最初の発言→東京スカイツリーに行ったことがあ

るかというトムの質問にNot yet (まだ行ったことがない)と答えている。4番目の発言→I visited it(=Tokyo Tower)と言っている。最後の発言→I visited Horyu-ji on my school tripと言っている。これらから健は×○○。

トム: 4番目の発言→I can't wait to go to Tokyo because I've never been there. (東京に行ったことがないので、行くのが待ちきれない。)と言っていることから、東京スカイツリーも東京タワーも行ったことがないことがわかる。5番目の発言→Nara is one of the places I want to visit some day. (奈良はいつか訪ねてみたい場所の1つです。)と言っている。これらからトムは×××となり、正解はウとなる。

(4) 1. 「それが1958年に建設されたとき、東京のほかの建物はそれほど高くなかった。」2. 「その通りだよ、健。長年、東京周辺の住民は東京タワーからそれ(電波)を受けてテレビを見ていた。」3. 「それらのうちのいくつかは200メートル以上だった。」4. 「最初の100メートル以上の建物は1968年に建てられた。」5. 「その後、東京にはそれより高い建物がたくさんできた。」

it, them, thatなどの代名詞が指すものを考えながら、できごとを時系列で並べればよい。2の下線部はIの前の健のセリフへの受け答えなので、2が最初にくると判断できる。1の下線部は2の東京タワーを指すので2→1となる。5の下線部は4の「最初の100メートル以上の建物」を指し、内容からも4→5となる。3の下線部は5の「それより高い建物」を指し、内容からも5→3の順になる。できごとを古い順に並べると2→1→4→5→3の順になる。

(5) It has stood there for a long time.は「それ(五重塔)はそこに長い間建っている。」という意味。1つ前の父の発言2文目のIt's about one thousand three hundred years old. (それは約1300年前に建てられました。)という文の下線部が具体的な年数となる。

(6) 主格の関係代名詞whoを使い、先行詞のpeopleを後ろから修飾する表現で「~する人々」という意味が表せる。ウ、エは先行詞が人なのでwhichは使えない。アはpeopleがbuildの目的語になり「彼らがそれを建てる人々」

という不自然な意味になる。

(7) 直前の健の発言I'm sure Tokyo Sky Tree was built with the newest technology. But I didn't know that it came from the five-storied pagoda. (東京スカイツリーは最新の技術で建設されたのは確かだが、それが五重塔から来ていることは知らなかった。)から下線部の語をX, Yに入れる。「五重塔」は、父の4番目の発言での説明It's the oldest wooden building in the world. (それは世界最古の木造建築だ。)の下線部に言い換えられるので、Zにはoldestを入れればよい。「最新の技術が最古の木造建築から来た(由来している)。」という意味。

要旨: トムが来週初めて東京に行くことになり、東京スカイツリーと東京タワーを話題にした。なぜ東京タワーがあるのに新しいタワーが必要なのかという質問に答えられない健が父にたずねると、東京タワーはテレビの電波を送るために建てられたが、その後、背の高い建物がたくさん建てられたために、より高い塔が必要になったのだと説明してくれた。また、トムが法隆寺の五重塔との関係をたずねると、塔を地震に強い構造にするために、世界最古の木造建築である五重塔の構造を参考にしたと健の父が教えてくれた。健は、再び奈良に行ってもっと注意深く五重塔を見たいと言った。健もトムも、最新の技術で建てられたものに昔の人々の技術が生かされていることに驚いた。